Mate/Mate J

NEC

タイプ **MG** (液晶一体型)

MK32M/GH-T、MK37L/GH-T、MK28E/GH-T、MJ32M/GH-T、MJ37L/GH-T、MJ28E/GH-T

活用ガイド

Windows[®] 7 Professional 32 ビット with Service Pack 1(SP1)(Windows 10 Pro ライセンスからのダウン グレード)

トラブル解決 Q&A..... 209 本マニュアルの表記や、商標などの情報を記載しています。 本機をお使いになっているときのトラブル事例や解決法に 最初にご覧ください。 ついて記載しています。 本マニュアルに記載していないトラブル事例や解決法につ 📕 本機の機能..... 14 いては、「サービス&サポート」をご覧ください 本機の各部の名称やインターフェイスについて記載してい http://121ware.com/support/。 ます。 仕様一覧..... 260 便利な機能とアプリケーション.....172 Web にて、仕様の詳細情報を公開しています (インターネ 本機にインストール、または添付されているアプリケーシ ットへの接続環境が必要です)。 ョンの概要やインストール、アンインストール方法につい て記載しています。



はじめに	4
はじめに	5
本マニュアルの表記について	6
「ユーザー アカウント制御」について	9
デバイス マネージャーの開き方	10
サポート技術情報について、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	11
	12
本機の機能	14
各部の名称	15
各部の名称と説明	16
表示ランプ	22
電源	23
電源の入れ方と切り方	24
電源の状態	26
スリープ状態/休止状態使用上の注意	27
スリープ状態	29
休止状態	31
電源の設定	33
電源の自動操作	36
省電力機能	37
省電力機能について、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	38
ECO モード機能	39
Intel SpeedStep [®] テクノロジー	43
+ +	44
	44 45
	45
(((((() () () () () () () (40
+-の石心	47
キーの使いり	50
+	51
	52
マワスについて	53
ディスプレイ	55
使用上の注意	56
画面表示の調整	57
表示できる解像度と表示色	58
外部ディスプレイを接続する	59
クローンモード機能を使う	61
デュアルディスプレイ機能を使う	63
表示するディスプレイの切り替え、または、表示モ	
ードを1つのディスプレイに戻す	65
ディスプレイの省電力機能	66
Web カメラ	67
Web カメラについて	68
ハードディスク	70
使用上の注意	71
SSD	72

4	使用上の注意	. 73
5	光学ドライブ	74
6	使用上の注意	. 75
9	各部の名称と役割	. 76
10	使用できるディスク	77
11	読み込みと再生	78
12	書き込みとフォーマット	80
. 14	非常時のディスクの取り出し方	81
15	サウンド機能	82
16	音量の調節	83
22	マイクの設定	. 85
23	LAN 機能	86
24	本機を安全にネットワークに接続するために	87
26	使用上の注意	. 89
27	LAN への接続	90
29	LAN 機能の設定	92
31	リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能	能 94
33	ネットワークブート機能(PXE 機能)	. 99
36	無線 LAN 機能	101
27	概要	102
· · · 3/ 20	本機を安全にネットワークに接続するために、	104
30	無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに	
	関するご注意	106
43	使用上の注意	108
44	無線 LAN 機能のオン/オフ	110
45	無線 LAN の設定と接続	112
46	無線 LAN に関する用語一覧	122
47		125
50	ゆ の 注音	125
51	USB 機器の取り付け/取り外し	128
52		120
53		129
55		120
56	メモリの取り10/ 取り1/0	120
57		129
58	Bluetooth 磯能	140
59		141
61	セキュリティに関するご注意	143
63		144
気モ	Bluetooth 機能の設定と接続	146
65	Bluetooth 機能のオン/オノ	151
66	セキュリティ機能	152
67	セキュリティ機能について	153
68	アドミニストレータパスワード/パワーオン	
70	パスワード	154
71	ハードディスクパスワード機能	155
	I/O 制限	156

	157
DEP(Data Execution Prevention)機能	158
暗号化ファイルシステム(EFS)	159
ウイルス検出・駆除	160
セキュリティチップ機能	161
DeviceLock Lite.	162
マネジメント機能	163
マネジメント機能について	164
リモートパワーオン (Wol (Wake on LAN)) 機能	165
ネットワークブート機能(PXE機能)	170
便利な機能とアプリケーション・・・・・	172
アプリケーションの種類と機能	173
アプリケーションのインストール/アンインストー	レに
ついて	175
Service Pack (について	177
Internet Explorer 11.	178
Office Personal 2016	180
Office Home & Business 2016	184
Devicel ock Lite	188
Acrobat Reader DC	190
FCO モード設定ツール	193
Cyberlink Power2Go	195
	198
CyberLink PowerBackup	202
$\overline{\nabla}$	202
	201
トラブル解決 O&A	209
トラブル解決 Q&A _{雷源}	209
トラブル解決 Q&A 電源 「フーザー名またはパスワードが正しくありませ	209 210
トラブル解決 Q&A 電源 「ユーザー名またはパスワードが正しくありませ んね」と表示された	209 210 211
トラブル解決 Q&A 電源 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された ネットワークブートができない	209 210 211 212
トラブル解決 Q&A 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されたネットワークブートができない キーボードエラーが表示される	209 210 211 212 213
トラブル解決 Q&A 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された ネットワークブートができない キーボードエラーが表示される	209 210 211 212 213
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた 帰後に入力されていることがある 	209 210 211 212 213 液 214
 トラブル解決 Q&A 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された ネットワークブートができない キーボードエラーが表示される USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある 	209 210 211 212 213 液 214
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. 東京が立わる トラにまっさわる. 	209 210 211 212 213 %復 214 215 216
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. あ示. 画面が流れるように表示される. 	209 210 211 212 213 液 214 214 215 216
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. あ示. 画面が流れるように表示される. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置が 	209 210 211 212 213 液 214 215 216
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. あかしい. 	209 210 211 212 213 液 214 215 216 217
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. 表示. 画面が流れるように表示される. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. 	209 210 211 212 213 後 214 215 216 217 218
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. あかしい. アロアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. 	209 210 211 212 213 (復 214 215 216 217 218 219
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーが帰後に入力されていることがある. 表示. 画面が流れるように表示される. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. ファイル保存. はじめに確認してください. 	209 210 211 212 213 液 214 215 216 217 218 219 220
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. あかした. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. ワァイル保存. はじめに確認してください. DVD、CD にデータを書き込めない(保存できな) 	209 210 211 212 213 後 214 215 216 217 218 219 220 い)
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. 表示. 画面が流れるように表示される. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. ファイル保存. はじめに確認してください. DVD、CD にデータを書き込めない(保存できな). 	209 210 211 212 213 液 214 215 216 217 218 219 220 い) 221
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. あ示. 画面が流れるように表示される. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. ファイル保存. はじめに確認してください. DVD、CD にデータを書き込めない(保存できな). 	209 210 211 212 213 液 214 215 216 217 218 219 220 い) 221 222
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. ある. 第本元、アルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. アイル保存. はじめに確認してください. DVD、CD にデータを書き込めない(保存できな). LAN 機能. ネットワークブートができない. 	209 210 211 212 213 (復 214 215 216 217 218 219 220 い) 221 222 223
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. 表示. 画面が流れるように表示される. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. ファイル保存. はじめに確認してください. DVD、CD にデータを書き込めない(保存できな). LAN 機能. ネットワークブートができない. 動作が不安定になった. 	209 210 211 212 213 液 214 215 216 217 218 219 220 い) 221 222 223 224
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. 表示. 画面が流れるように表示される. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. 解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい. アイル保存. はじめに確認してください. DVD、CD にデータを書き込めない(保存できな. 基本のになった. 無線 LAN 機能. 	209 210 211 212 213 液 214 215 216 217 218 219 220 い) 221 222 223 224 225
 トラブル解決 Q&A. 電源. 「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された. ネットワークブートができない. キーボードエラーが表示される. USB キーボードから復帰する際に使用したキーた帰後に入力されていることがある. 表示. 画面が流れるように表示される. デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい. アイル保存. はじめに確認してください. DVD、CD にデータを書き込めない(保存できな). 基本ののアイコンを含めた. 無線 LAN 機能. 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンを含めた 	209 210 211 212 213 液 214 215 216 217 218 219 220 い) 221 222 223 224 225 ブル

Windows 7のService Pack 1(KB976932)をア	ンイ
ンストール後、デバイス マネージャーの「インテ	ル(R)
ワイヤレス Bluetooth(R)」と「Intel(R) Manage	ment
Engine Interface」に「!」が表示される	227
印刷	228
PDF 形式のマニュアルがうまく印刷できない	229
セキュリティチップ機能	230
セキュリティチップを有効にしたい	231
セキュリティチップを初期化したい	232
本機を修理に出した後、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	233
ハードディスク	234
領域作成できる容量が、カタログなどに記載され	
ている値より少ない	235
SSD	236
領域作成できる容量が、カタログなどに記載され	230
ている値より少ない	. 237
*学ドライブ	228
	230
DVD CD にデータを書き込めない(保存できな	(J)
	240
ドライブ文字がおかしい	241
周辺機器	242
は心めに確認してください	242
	213
	244
	245
	246
	247
アノリクーションをインストールしさない	240
アノリケーションを強制的に称うとせたい	249
ゲノックーションが平機で使用できるが知りたい 使用している Windows への対応が明記されてい	+>
し Windows 田アプリケーションを使用したい	っ 251
Internet Explorer や関連製品に関するサポート	支術
情報について知りたい	252
דעע געע ל	253
「雨セットアップをすることはできません」と表	255 ج
*hス	254
「雨セットアップ田メディア」を要求する画面が終	2J7 显
1号こう19 シンパスタイク」 と安不り 2回回20 1	* 255
	255
クリップなどの異物が木体内部に入ってしまった	250
フラフラスにの美術が本体的にバラでしょうた	258
y D C マンパに A C A C A C A C A C A C A C A C A C A	230
ンストール後、デバイス マネージャーの Intel(R)
Management Engine Interface に「!」が表示	、 さわ
a	259
// //////////////////////////////////	260
 上1 	200
1上1水 見	201

はじめに

[010000-17]

Σ	はじめに	5
Ø	本マニュアルの表記について	6
Ø	「ユーザー アカウント制御」について	9
Ø	デバイス マネージャーの開き方	10
Ø	サポート技術情報について	11
D	ご注意	12

[010001-00]

本マニュアルには、本機の機能についての説明、添付またはインストールされているアプリケーションの情報、サポートに関する情報、トラブル発生時などの対応方法を記載した Q&A など、本機を利用する上での情報が記載されています。 本マニュアルに記載していないトラブル発生時などの対応方法については、「サービス&サポート」をご覧ください。

http://121ware.com/support/

本マニュアルは、Windowsの基本的な操作がひと通りでき、アプリケーションなどのヘルプを使って操作方法を理解、 解決できることを前提に本機固有の情報を中心に記載されています。

もし、お客様がコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、 本マニュアルをご利用になることをおすすめします。

本機の仕様、アプリケーションについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

http://121ware.com/support/

[010003-17]

本マニュアルで使用しているアイコンや記号、アプリケーション名などの正式名称、表記について、下記をご覧ください。

本マニュアルで使用しているアイコンの意味

アイコン	意味
チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで 注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプ リケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
* E	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
● 参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれているところを示しています。

本マニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 7、 Windows 7 Professional	Windows [®] 7 Professional 32 ビット with Service Pack 1(SP1)(Windows 10 Pro ライセンスからのダウングレード)
Windows 7 Professional 32 ビット	Windows [®] 7 Professional 32 ビット with Service Pack 1(SP1)(Windows 10 Pro ライセンスからのダウングレード)
Windows 7 SP1	Windows [®] 7 Service Pack 1 (SP1)
Internet Explorer、Internet Explorer 11	Internet Explorer 11
Microsoft IME	次のいずれかを指します。 Microsoft[®] IME Microsoft Office IME 2010
Windows Media Player	Microsoft [®] Windows Media [®] Player 12
Office Personal 2016	Microsoft Office Personal 2016
Office Home & Business 2016	Microsoft Office Home & Business 2016
Acrobat Reader DC	Adobe [®] Acrobat [®] Reader [®] DC
CyberLink PowerDVD	CyberLink PowerDVD
CyberLink Power2Go	CyberLink Power2Go 8

CyberLink PowerBackup	CyberLink PowerBackup 2.6
YouCam 5 BE	CyberLink YouCam 5 BE

本マニュアルで使用している表記の意味

本文中の表記	意味
本機、本体	本マニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
光学ドライブ	DVD スーパーマルチドライブ、または DVD-ROM ドライブを指します。書き分け る必要のある場合は、そのドライブの種類を記載します。
光学ドライブモデル	DVD スーパーマルチドライブ、または DVD-ROM ドライブが搭載されているモデ ルを指します。
DVD スーパーマルチドライブモ デル	DVD スーパーマルチドライブが搭載されているモデルを指します。
DVD-ROM ドライブモデル	DVD-ROM ドライブが搭載されているモデルを指します。
SSD モデル	ハードディスクの代わりに、SSD が搭載されているモデルを指します。
無線 LAN モデル	無線 LAN が搭載されているモデルを指します。
ワイヤレス機能	無線 LAN 機能、Bluetooth 機能を指します。ご購入時に選択したモデルによって 異なります。
キーボードモデル	キーボードが添付されているモデルを指します。
Web カメラ搭載モデル	Web カメラが搭載されているモデルを指します。
Office Personal 2016 モデル	Office Personal 2016 があらかじめインストールされているモデルを指します。
Office Home & Business 2016 モデル	Office Home & Business 2016 があらかじめインストールされているモデルを 指します。
アプリケーションディスク	本機に添付されているアプリケーションを格納したディスクを指します。
CyberLink PowerDVD ディス ク	「CyberLink PowerDVD ディスク」または「CyberLink PowerDVD / CyberLink Power2Go / CyberLink PowerBackup ディスク」を指します。
CyberLink Power2Go ディス ク	「CyberLink PowerDVD / CyberLink Power2Go / CyberLink PowerBackup デ ィスク」を指します。
CyberLink PowerBackup ディ スク	「CyberLink PowerDVD / CyberLink Power2Go / CyberLink PowerBackup デ ィスク」を指します。
BIOS セットアップユーティリテ ィ	本文中に記載されている BIOS セットアップユーティリティは、画面上では「NEC BIOS Setup Utility」と表示されます。
「スタート」ボタン	Windows のタスク バーにある 📀 を指します。
「スタート」 ボタン→「すべてのプ ログラム」 → 「アクセサリ」 → 「メ モ帳」	「スタート」ボタンをクリックし、表示されたスタートメニューから「すべてのプ ログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を順にクリックする操作を指します。

「スタート」 ボタン→「コントロー ル パネル」	「スタート」ボタンをクリックし、表示されたスタートメニューから「コントロー ル パネル」をクリックする操作を指します。また、コントロール パネルはカテゴ リ表示された状態を指します。
[]	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】+【Y】と表記してある場合は、【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押す ことを指します。
ſ _	『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。
再セットアップ用メディア	「再セットアップ用ディスク」または「再セットアップ用 USB メモリ」を指しま す。

本マニュアルで使用している画面、記載内容について

● 本マニュアルに記載の図や画面は、モデルによって異なることがあります。

● 本マニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」について

[010005-07]

アプリケーションを起動したり、本機を操作したりしているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意のあるソフトウェア」によって、本機のシステムに 影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものか を確認するためのものです。

「ユーザー アカウント制御」 画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。



デバイス マネージャーの開き方

[010006-07]

デバイスマネージャーを開く場合は、次の手順で行います。



2 「システムとセキュリティ」をクリック

3 「システム」の「デバイス マネージャー」をクリック

「デバイスマネージャー」が表示されます。

サポート技術情報について

[010007-00]

マイクロソフトで確認された問題の説明や解決方法がサポート技術情報として公開されています。 サポート技術情報を参照するには、「マイクロソフト サポート」にアクセスし該当する文書番号を入力して検索してくだ さい。

マイクロソフト サポート http://support.microsoft.com/



サポート技術情報のタイトルや内容は変更される場合があります。

ご注意

[010004-17]

- 1. 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- 2. 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 3. 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの ことがありましたら、ご購入元、または 121 コンタクトセンターへご連絡ください。
- 4. 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 5. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、 制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- 6. 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- 7. 本機の内蔵ハードディスク (または SSD) にインストールされている Windows は本機でのみご使用ください。また、 本機に添付の DVD-ROM、CD-ROM は、本機のみでしかご使用になれません(詳細は「ソフトウェアのご使用条件」 および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- 8. ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となり ます。
- 9. ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- 10. 本製品には、Designed for Windows[®] program のテストにパスしないソフトウェアを含みます。
- 11. 本マニュアルに記載されている内容は制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページ の内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC^{*1} will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC^{*1} does not provide maintenance service or technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1:NEC Personal Computers, Ltd.

* * *

Microsoft、Windows、Aero、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

インテル、Intel、Celeron、Intel SpeedStep、インテル Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコ ーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。 Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータはライセンスに基づきこのマークを使用しています。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

DisplayPortはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

DeviceLockおよびDeviceLockロゴは、DeviceLock, Inc.の登録商標です。

WebSAMは日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Personal Computers, Ltd. 2017

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。



[020000-17]

Ø	各部の名称	15
Ø	電源	23
Ø	省電力機能	37
Ø	キーボード	44
Ø	マウス	52
٥	ディスプレイ	55
Ø	Web カメラ	67
٥	ハードディスク	70
٥	SSD	72
٥	光学ドライブ	74
٥	サウンド機能	82
٥	LAN 機能	86
Ø	無線 LAN 機能	101
٥	USB コネクタ	125
٥	メモリ	129
٥	Bluetooth 機能	140
Ø	セキュリティ機能	152
D	マネジメント機能	163



	[020100-17]	l
Ø	各部の名称と説明	;
D	表示ランプ)

各部の名称と説明

[020101-17]







各部の説明

1.光学ドライブ

DVD スーパーマルチドライブ、または DVD-ROM ドライブが内蔵されています。内蔵されているドライブはお使いのモ デルによって異なります。 →「光学ドライブ (P. 74)」

2.電源スイッチ(心)

電源のオン/オフや電源状態の変更などで使用するスイッチです。 →「電源 (P. 23)」

USB 機器を接続するコネクタです。この USB コネクタは、USB 2.0 と USB 1.1 の機器に対応しています。USB 2.0 の 転送速度を出すためには、USB 2.0 対応の機器を接続する必要があります。 → 「USB コネクタ (P. 125)」

4.USB コネクタ(USB 3.0 対応)(ss-)

USB 機器を接続するコネクタです。この USB コネクタは、USB 3.0、USB 2.0 および USB 1.1 の機器に対応していま す。USB 2.0 の転送速度を出すためには、USB 2.0 対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0 の転送速度を出す ためには、USB 3.0 対応の機器を接続する必要があります。 → 「USB コネクタ (P. 125)」

6.PS/2 キーボードコネクタ ())

PS/2 接続(ミニ DIN6 ピン)のキーボードを接続するコネクタです。 \rightarrow 「キーボード (P. 44)」

8.LAN コネクタ(ム)

LAN ケーブルを接続するコネクタです。

通信速度ランプ ネットワーク通信/接続ランプ (ACT/LINK) ・LAN コネクタ

通信速度ランプ

- 1000Mbps ネットワーク接続時はオレンジ色に点灯します。
- 100Mbps ネットワーク接続時は緑色に点灯します。
- 10Mbps ネットワーク接続時は点灯しません。

ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LINK)

ネットワーク上で読み込みや書き込みが発生すると点滅します。 また、ハブやスイッチから、リンクパルスを受信すると点灯します。ただし、必ずしも本機の読み込みや書き込みと は限りません。

9. 通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔です。



チェック

物を載せたり壁などでふさがないように注意してください。

10.盗難防止用ロック())

別売のセキュリティケーブルを取り付けることができます。

→ 「セキュリティ機能 (P. 152)」

11.AC 電源コネクタ

AC コンセントから本体に 100V の電源を供給するためのコネクタです。 添付の電源コードを接続します。

12.PS/2 マウスコネクタ(白)

PS/2 接続(ミニ DIN6 ピン)のマウスを接続するコネクタです。

シリアルポート対応機器を接続するための端子です。



チェック

シリアルポートでは、変換アダプタを利用した周辺機器の接続はできません。

20.DisplayPort コネクタ(‡D)

DisplayPort 規格に対応した外部ディスプレイを市販の DisplayPort ケーブルで接続します。 →「ディスプレイ (P. 55)」



メモ

DisplayPort 1.2a 規格を満たす DisplayPort ケーブルおよびディスプレイが接続できます。



チェック

DVI-D インターフェイスのディスプレイと接続時に添付の DisplayPort-DVI-D 変換アダプタを使用してください。

このコネクタは、添付の DisplayPort-DVI-D 変換アダプタを使用して接続したディスプレイでのみ動作確認 を行っております。

25.ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク端子(の)

ヘッドフォンやヘッドフォンマイク(4 極ミニプラグ)、または外付けスピーカやオーディオ機器を接続し、音声信号を 出力、入力するための端子です。 →「サウンド機能 (P. 82)」

🔎 チェック

入力機能としてはスマートフォン用ヘッドフォンマイク(4 極ミニプラグ)のみ使用できます。市販のステレオマイクやモノラルマイクは使用できません。



本機のディスプレイです。 →「ディスプレイ (P. 55)」

30.表示ランプ

電源、ハードディスク(または SSD)へのアクセスの状態を表示するランプです。 →「表示ランプ (P. 22)」

31.スピーカ

内蔵のステレオスピーカです。

36.内蔵マイク

テレビ電話をするときなどに使用するマイクです。



フェッマ このマイクを使用して録音している場合、録音している音を同時にスピーカなどで再生することはできませ

 h_{\circ}

37.輝度調整ボタン(o)

液晶ディスプレイの輝度を調整するボタンです。+キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が上がります。-キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が下がります。(19 段階) →「ディスプレイ (P. 55)」

38.Web カメラ

テレビ電話をするときなどに使用します。Web カメラ使用時は、Web カメラ横のランプが点灯します。 →「Web カメラ (P. 67)」

39.ケーブルフック

本体のケーブル類を束ねるためのフックです。

40.ストラップフック

本体を持ち運ぶときなど、スタンドの高さを低い状態で固定するためのフックです。 スタンドが一番低い状態でストラップフックを差し込むと、低い状態でスタンドの高さが固定されます。 スタンドを高くするときは、ストラップフックを引き出した状態で調整してください。

チェック

スタンドの高さ調整は、ストラップフックを差し込んでいない状態であることを必ず確認してください。 ストラップフックを差し込んだ状態で勢いよくスタンドを下げると、ストラップフックが破損します。

USB 機器を接続するコネクタです。この USB コネクタは、USB 3.0、USB 2.0 および USB 1.1 の機器に対応していま す。USB 2.0 の転送速度を出すためには、USB 2.0 対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0 の転送速度を出す ためには、USB 3.0 対応の機器を接続する必要があります。

→ 「USB コネクタ (P. 125)」

またこの USB コネクタは、パワーオフ USB 充電機能に対応しています。USB ケーブルを使って充電できる機器を充電 するとき、この USB コネクタでは電源が切れた状態でも充電できます。

[020102-17]

本体

⊖ 電源ランプ

ランプの状態		本機の状態		
緑	点灯	電源が入っている		
	点滅	スリープ状態		
消灯		電源が切れている、または休止状態		

ロディスクアクセスランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	ハードディスク(または SSD)にアクセス中
消灯	ハードディスク(または SSD)にアクセスしていない

キーボード(キーボードモデルのみ)

▲ キャップスロックキーランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	【Caps Lock】がロックされている(英字を入力すると大文字になります。)
消灯	【Caps Lock】がロックされていない(英字を入力すると小文字になります。)

向スクロールロックキーランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	【Scroll Lock】 がロックされている
消灯	【Scroll Lock】 がロックされていない

☆ ニューメリックロックキーランプ

ランプの状態	本機の状態
緑点灯	【Num Lock】 がロックされている
消灯	【Num Lock】 がロックされていない



[020300-17]

本機の電源の入れ方と切り方などについて説明しています。

Ø	電源の入れ方と切り方	24
۲	電源の状態	26
۲	スリープ状態/休止状態使用上の注意	27
Ø	スリープ状態	29
Ø	休止状態	31
Ø	電源の設定	33
0	電源の自動操作	36

電源の入れ方と切り方

[020301-17]

電源を入れる

電源を入れる際は、次の手順に従って正しく電源を入れてください。

🗸 チェック

- 光学ドライブなどにディスクがセットされた状態で電源を入れると、Windows が起動しない場合があり ます。その場合は、セットされているディスクを取り出してから、電源を入れなおしてください。
- いったん電源を切った後で、電源を入れなおす場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。
- 電源コードが抜けた、ブレーカーが落ちた、停電などの理由で電源供給が途絶えた場合は、電源コードを 抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。
- メモリを変更した場合、メモリの組み合わせによっては、初期化のために電源を入れてから画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ユーザー選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。
- BIOS セットアップユーティリティで、キーボードを接続していない状態での起動を禁止している場合は、 本機が起動しません。キーボードを接続してください。

参照

BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

周辺機器の電源を入れる

本機の電源スイッチを押す

電源を切る

電源を切る際は、次の手順に従って正しく電源を切ってください。

トエック

- Windowsやアプリケーションの起動中、アクセスランプなどが点灯している場合は、本機の電源を切らないでください。
- 通信を行っている場合は、通信が終了していることを確認してから電源を切ってください。通信中に電源 を切ると、通信中のデータが失われる場合があります。



🧪 チェック

シャットダウン処理中は、電源スイッチを押さないでください。

4 電源ランプが消灯し、本機の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る



[020302-17]

本機の電源の状態には次のように「電源が入っている状態」「スリープ状態」「休止状態」「電源が切れている状態」の4 つの状態があります。

● 電源が入っている状態

通常、本機を使用している状態です。

● スリープ状態

作業中のメモリの状態を保持したまま、ハードディスク(または SSD)やディスプレイを省電力状態にして消費電力 を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、メモリの状態を保持しているので、すぐに作業を再開できま す。

ハイブリッドスリープ

スリープ状態に移行する際に、ハードディスク(または SSD)にもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。ハードディスク(または SSD)にもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でもハードディスク(または SSD)から復帰することができます。

• 休止状態

メモリの情報をすべてハードディスク(または SSD)に保存してから、本機の電源を切った状態です。もう一度電源 を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元します。

● 電源が切れている状態

本機の電源を完全に切った状態です。

電源の状態は、本機の電源ランプで確認することができます。

参照 電源ランプについて

「各部の名称」の「表示ランプ (P. 22)」

スリープ状態/休止状態使用上の注意

[020303-17]

スリープ状態または休止状態を使用する場合の注意

- 本機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがありますので、次のような場合には、スリープ状態 または休止状態にしないでください。
 - プリンタへ出力中
 - 通信を行うアプリケーションを実行中
 - LAN または無線 LAN を使用して、ファイルコピーなどの通信動作中
 - 音声または動画の再生中
 - ハードディスク(または SSD)、DVD、CD などにアクセス中
 - 「システムのプロパティ」画面を表示中
 - Windowsの起動/終了処理中
 - スリープ状態または休止状態に対応していない USB 機器などの周辺機器やアプリケーションを使用中
- ハイブリッドスリープを使用しない設定にしている場合、スリープ状態のときに次のことが起きると、作業中のデー タが失われますので、ご注意ください。
 - 電源コードが本体や AC コンセントから外れた
 - 停電が起きた
 - 電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切った
- スリープ状態または休止状態への移行、復帰などの電源状態の変更は、5秒以上の間隔をあけてから行ってください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が 終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ 状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーショ ンを使う場合には、あらかじめ、お使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態ま たは休止状態を使用してください。
- 通信を行うアプリケーションを使用中の場合は、通信を行うアプリケーションを終了させてから、休止状態にしてく ださい。通信状態のまま休止状態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- スリープ状態または休止状態への移行中は、各種ディスクなどの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- スリープ状態または休止状態中に、周辺機器の取り付けや取り外しなどの機器構成の変更を行うと、正常に復帰できなくなることがあります。
- スリープ状態に移行する前に USB 機器(マウスまたはキーボード以外)を外してください。USB 機器を接続した状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。
- スリープ状態時や休止状態時、スリープ状態や休止状態への移行中、スリープ状態や休止状態からの復帰中は、USB 機器を抜き差ししないでください。
- 「電源オプション」で各設定を変更する場合は、管理者(Administrator)権限を持つユーザーで行ってください。
- 光学ドライブにディスクをセットしたまま休止状態から復帰すると、正しく復帰できずにディスクから起動してしまうことがあります。休止状態にする場合は、ディスクを取り出してください。
- 光学ドライブに Photo CD をセットしたままスリープ状態または休止状態にすると、復帰に時間がかかることがあります。
- スリープ状態のときに装置本体内のファンが作動する場合があります。

- スリープ状態または休止状態からの復帰を行った場合、本体は復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- 次のような場合には、復帰が正しく実行されなかったことを表しています。
 - アプリケーションが動作しない
 - スリープ状態または休止状態にする前の内容を復元できない
 - マウス、キーボード、電源スイッチを操作しても復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用しているときは、スリープ状態または休止状態にしないでください。 電源スイッチを押しても復帰できなかったときは、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源ランプが消 え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOS セットアップユーティリティの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は再度設定してください。

● 参照

BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

[020304-17]

作業中のメモリの内容を保持したまま、ハードディスク(または SSD)やディスプレイを省電力状態にして消費電力を 抑えている状態です。メモリには電力が供給され、内容が保持されているので、すぐに作業を再開できます。

トレック チェック

スリープ状態への移行およびスリープ状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけ て行ってください。

スリープ状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動でスリープ状態にするには、次の手順で行います。

「スタート」ボタンをクリック

2 「シャットダウン」ボタンの横の をクリックし、表示されたメニューから「スリープ」を クリック

Windows が終了し、スリープ状態になります。Windows の終了処理中は電源スイッチを押さないでください。 本機がスリープ状態になると、電源ランプが緑色に点滅します。

メモ

本機ではハイブリッドスリープを使用する設定になっています。 ハイブリッドスリープはスリープ状態時に電力の供給が断たれた場合に備え、ハードディスク(または SSD) にもメモリの情報を保存するため、作業内容をより安全に維持します。



スリープ状態から復帰する

スリープ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、次の方法があります。

チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。
- USB キーボードから復帰する際、復帰のために押したキーが複数回入力され、正しくパスワードが入力されずログオンできない場合があります。詳しくは、「トラブル解決 Q&A」の「電源」-「USB キーボードから復帰する際に使用したキーが復帰後に入力されていることがある (P. 214)」をご覧ください。

電源スイッチを押す

チェック

電源スイッチを押して復帰する場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けないでください。電源スイッチを 4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保存していないデータが失われます。

マウスまたはキーボードを操作する

マウスまたはキーボードの設定を変更することでスリープ状態から復帰させることができます。

ハイブリッドスリープ

スリープ状態に移行する際に、ハードディスク(または SSD)にもメモリの情報をすべて保存するスリープ状態です。 ハードディスク(または SSD)にもメモリの情報が保存されているため、スリープ状態中に電源が切れた場合でもハー ドディスク(または SSD)から復帰することができます。

チェック

- 工場出荷時は、ハイブリッドスリープを使用する設定になっています。
- ハイブリッドスリープを使用する設定にした場合、「休止状態」の「休止状態にする」の手順で休止状態 にできません。ハイブリッドスリープを使用する設定のときに、直接、休止状態にしたい場合には、「電 源の設定」の「電源の状態を変更する操作の設定」の手順で設定を変更し、電源スイッチの操作により休 止状態にしてください。

参照

電源プランの設定の変更について

「電源の設定」の「電源の状態を変更する操作の設定 (P. 35)」



[020305-17]

メモリの情報をすべてハードディスク(または SSD)に保存し、本機の電源を切った状態です。もう一度電源を入れる と、休止状態にしたときと同じ状態に復元しますので、本機での作業を長時間中断する場合、消費電力を抑えるのに有 効です。



- 休止状態への移行および休止状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
- 工場出荷時は、ハイブリッドスリープを使用する設定になっています。

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタンをクリック

2 「シャットダウン」ボタンの横の ▶ をクリックし、表示されたメニューから「休止状態」をクリック

休止状態への移行処理後、電源が自動で切れます。電源スイッチは押さないでください。 本機が休止状態になると、電源ランプが消灯します。



チェック

工場出荷時はハイブリッドスリープを使用する設定になっているため、「スタート」から「休止状態」が表示 されません。直接休止状態にするには、「電源の設定」の「電源の状態を変更する操作の設定」の手順で設定 を変更し、電源スイッチの操作により行う必要があります。



電源プランの設定の変更について

「電源の設定」の「電源の状態を変更する操作の設定 (P. 35)」

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の方法があります。



- ユーザー選択画面が表示された場合は、ログオンするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

電源スイッチを押す



チェック

電源スイッチを押して復帰する場合は、電源スイッチを5秒以上押し続けないでください。電源スイッチを 5秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保存していないデータが失われます。



[020306-17]

電源の設定は、Windowsの「電源オプション」で行います。

「電源オプション」では、あらかじめ設定されている電源プランから使用するプランを選択するほか、新規のプランを作成することができます。

また、プランごとに電源の状態を変更する操作の設定や、電源の状態が変更されるまでの時間を設定することができます。

電源プランの選択

設定されている電源プランから選択する場合は、次の手順で行います。

┏「スタート」 ボタン→「コントロール パネル」 をクリック

🧧 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック



表示されているプランから使用したいプランを選択する

表示されているプラン以外から選択したい場合は、「追加のプランを表示します」をクリックし、表示されたプ ランから選択してください。

4 🔜 🔤 🗛

以上で電源プランの選択は完了です。

電源プランの設定の変更

すでに登録されている電源プランの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

【「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

3 設定を変更したいプランの「プラン設定の変更」をクリック

表示された画面で設定を行う

電源の種類ごとに設定できます。

項目	説明	
ディスプレイを暗くする	指定した時間、何も入力がない場合、ディスプレイの輝度を下げます。	

ディスプレイの電源を切る	指定した時間、何も入力がない場合、ディスプレイの電源を切ります。
コンピューターをスリープ状態 にする	指定した時間、何も入力がない場合、本機がスリープ状態になります。
プランの明るさを調整	ディスプレイの輝度を設定します。

チェック

設定時間を変更したときに、「コンピューターをスリープ状態にする」時間が「ディスプレイの電源 を切る」時間よりも短くならないように、設定時間が自動的に変更される場合があります。個別に 設定する場合は「詳細な電源設定の変更」をクリックして設定してください。

メモ

- 「詳細な電源設定の変更」をクリックすると、電源プランごとに詳細な設定が行えます。
- 「このプランの既定の設定を復元」を選択すると、設定値が既定の値に戻ります。



以上で電源プランの設定の変更は完了です。

電源プランの作成

新規の電源プランを作成する場合は、次の手順で行います。

- **1** 「スタート」 ボタン→「コントロール パネル」 をクリック
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック
- **よ** 左のメニューから「電源プランの作成」をクリック
- 4 表示される電源プランから作成したいプランに近いプランを選択する
- 5 「プラン名」欄に作成する電源プラン名を入力し、「次へ」 ボタンをクリック

6 表示される画面で設定を行う

📶 「作成」ボタンをクリック

以上で電源プランの作成は完了です。

作成した電源プランは、「電源プランの選択 (P.33)」の手順で選択できます。

電源の状態を変更する操作の設定

電源スイッチを押して実行される電源の状態を変更する場合は、次の手順で行います。





以上で設定は完了です。



[020307-17]

タイマ、LAN からのアクセス(WoL)によって、自動的に電源の操作を行うことができます。

/ チェック

タイマ、LANの自動操作によるスリープ状態からの復帰を行った場合、本体はスリープ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。

タイマ機能(電源オプション)

設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力やハードディスク(または SSD)へのアクセスなどがない 場合、自動的にディスプレイの電源を切ったり、スリープ状態にすることができます。 工場出荷時は次のように設定されています。

電源プランの名称	ディスプレイの電源 を切る	ハードディスクの電 源を切る	スリープ状態にする	休止状態にする
標準	約 10 分	約 10 分	約 25 分	なし



工場出荷時は、省電力のためスリープ状態になるように設定してあります。

WoL(LAN による電源の自動操作)

LAN 経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。


省電力機能

[020400-17]

本機の省電力機能について説明しています。

Ø	省電力機能について	38
Ø	ECO モード機能	39
Ø	Intel SpeedStep® テクノロジー	43



[020401-17]

Windows には、一定時間本機を使用していない場合などに電源の状態を変更し、消費電力を抑えるように設定できる電源管理機能があります。

また、Windowsの電源管理機能に加え、本機には次の省電力機能があります。

ECO モード機能

ホットキーを押すことで、簡単に ECO モード機能のモードを切り替えることができます。

チェック ECO モード機能を利用するには、「ECO モード設定ツール」をインストールする必要があります。

また、お使いのモデルによっては次の機能があります。

Intel SpeedStep[®] テクノロジー

処理の負荷などによって、CPU の動作性能を切り替える機能です。





[020402-17]

チェック

ECO モード機能を利用するには、「ECO モード設定ツール」をインストールする必要があります。 「ECO モード設定ツール」のインストール方法は、「便利な機能とアプリケーション」の「ECO モード設定ツ ール (P. 193)」をご確認ください。

本機では、利用シーンにあわせて最適な設定に切り替えることができます。 初期設定では、ECOモード機能で切り替えることのできるモードには次の2つがあり、「標準」が選択された状態になっています。

◆モードの種類

モード	通知領域のアイコ ンおよび色	説明
標準	<u> (</u> 青)	本機の速度を優先させる設定ですが、操作がない状態で一定の時間が経過した場合、 スリープ状態に移行します。電源プランは「標準」が割り当てられており、液晶ディ スプレイの輝度は 56%に設定されています。
ECO	图 (緑)	電力をもっとも節約する設定で、標準よりも短い時間でスリープ状態に移行します。 電源プランは「ECO」が割り当てられており、液晶ディスプレイの輝度は 10%に設 定されています。

チェック

- 表中のアイコンは初期設定のものです。実際に表示されるアイコンはモードに割り当てている電源プランにより異なります。
- 電源プラン「ECO」は固定的に割り当てられるモードのため変更はできません。
- Windowsのログオン画面が表示されている場合、設定したホットキーを押してもモードの変更はできません。
- 省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDの再生などの映像を表示するアプリケーションで、再生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してください。
- 本機を起動した直後に「ECO モード設定ツール」を起動すると、一部の機能が正しく動作しません。「ECO モード設定ツール」は、本機を起動後1分ほどたってから起動してください。

モードを切り替える

タスク バーから切り替える

タスク バーに表示されるアイコンをクリックして、モードを切り替えます。

🚹 タスク バーの通知領域にある 🔺 をクリック

現在のモードを示すアイコン(例: 🔂)が表示されます。



選択できるモードが表示されます。

3 モードを選択し、クリック

選択したモードに切り替わります。

ホットキーを使って切り替える

ホットキーを設定して、キーボードから簡単にモードの切り替えを行うことができます。



設定したホットキーを押す

設定されているモードが表示され、以後、設定したホットキーを押すごとに、モードが切り替わります。

🧪 チェック

初期設定では、モードの切り替えに使用するホットキーは設定されていません。「ホットキーの設定 (P. 40)」をご覧になり、切り替えに使用するホットキーを設定してください。

ホットキーの設定

モードの切り替えに使用するホットキーを1つ設定できます。 工場出荷時の状態では、ホットキーは設定されていません。ホットキーの設定は、次の手順で行います。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECO モード設定ツール」→「ECO モード設 定ツール」をクリック

2 「ホットキーの設定」ボタンをクリック

🛃 使用するホットキーを選択し、「OK」 ボタンをクリック

ノン メモ

- ホットキーには、次のキーが設定できます。
 - [Alt] + [F1] \sim [F3]
 - [Alt] + [F5] ~ [F12]
 - [Ctrl] + [F1] \sim [F12]
- 「初期設定に戻す」ボタンをクリックすると、ホットキーの設定を初期設定に戻します。

以上で設定は完了です。

ECO モード機能の設定

モードの設定の変更

ECO モード機能で切り替える各モードの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

│「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECO モード設定ツール」→「ECO モード設 定ツール」をクリック

2 表示される画面で設定を行う

- 電源プラン
 変更可能なモードに割り当てる電源プランを選択します。
- 「電源プランのカスタマイズ」ボタン
 コントロールパネルの電源オプションが表示されます。
- 「初期設定に戻す」ボタン
 2 つのモードと電源プランの組み合わせを、初期設定に戻します。



トエック

- ECO ボタンの各モードに設定している電源プランを削除した場合、削除した電源プランを選択していたモ ードには「設定なし」が設定されます。
- 「初期設定に戻す」ボタンをクリックしたときに、初期設定の電源プランが削除されていた場合も「設定 なし」が設定されます。

以上で設定は完了です。

自動切替設定

電源プランを自動的に切り替える期間と時間帯の設定ができます。 設定した時間帯に応じて、本機の電源プランを変更し、消費電力を抑えることができます。



- 電源プランの自動切替の実行中は、タスクバーの通知領域のアイコンや設定したホットキーでの電源プランの切り替えはできません。
- 電源プランの自動切替の実行中に、手動で Windows の「電源オプション」などで電源プランを切り替えた場合は、自動切替時間の終了後もその電源プランを維持します。
- ECO モード設定の切り替わりには、数分かかる場合があります。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECO モード設定ツール」→「ECO モード設 定ツール」をクリック



3

「電源モード自動切替の設定」ボタンをクリック

「ECO モード設定ツール(自動切り替え設定)」画面が表示されます。

自動切替の設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
時間帯により切り替える	チェックを付けると、時間帯に応じて、電源プランを切り替えます。
使用期間	電源プランの自動切り替えを使用する期間の開始日、終了日を設定します。 それぞれの欄の▼をクリックし、表示されるカレンダーから日付を選択して ください。 さらに、 ◆をクリックし、開始時刻、終了時刻を設定します。 設定した時間帯は、使用できる電源プランが制限されます。

4 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

Intel SpeedStep® テクノロジー

[020404-17]

Intel SpeedStep[®] テクノロジーに対応した CPU が搭載されているモデルでは、電源の種類や CPU の動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。

Intel SpeedStep[®] テクノロジーへの対応については、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を 検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

http://121ware.com/support/

設定を変更する場合は、「電源プランの設定の変更」の手順3で「詳細な電源設定の変更」をクリックし、表示される画 面の「プロセッサの電源管理」の各項目で設定を行います。

参照
 電源プランの設定の変更について
 「電源の設定 (P. 33)」

キーボード

[020600-17]

本機のキーボードのキーの名称や、キーの使い方について説明しています。

0	添付されるキーボードの種類	45
Ø	使用上の注意	46
Ø	キーの名称	47
Ø	キーの使い方	50
0	キーボードの設定	51

添付されるキーボードの種類

[020601-17]

キーボードモデルの場合、本機に添付されるキーボードには、接続するインターフェイス、キー配列などの違いにより、 次の種類のキーボードがあります。

キーボードの種類・名称		インターフェイス	キー配列
PS/2 接続のキーボード	PS/2 109 キーボード	PS/2	109 配列
	PS/2 テンキー付き小型キ ーボード		109 準拠
USB 接続のキーボード	USB 109 キーボード	USB	109 配列

[020602-17]

N キーロールオーバ

N キーロールオーバとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力したキーが有効になる機能です。ただし、本機のキーボードは、疑似 N キー ロールオーバのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示されないことや、 有効にならないことがあります。

USB キーボードの接続

電源が入った状態で USB キーボードを抜き差しする場合、USB キーボードの取り外しや取り付けを、本機が認識するためには数秒~10 秒程度必要です。瞬間的な抜き差しを繰り返すとキーボード入力ができなくなることがあります。 キーボード入力ができなくなってしまった場合は、USB キーボードを正しく接続した後に、マウスを使用して Windows を再起動してください。Windows を再起動できない場合、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、5 秒以上待ってから、もう一度電源を入れてください。

[020603-17]

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機 能は使用するソフトウェアによって異なります。

PS/2 109 キーボード、USB 109 キーボード



番号	マニュアルでの表記	名称
(1)	[Esc]	エスケープキー
(2)	[F1] ~ [F12]	ファンクションキー
(3)	[Back Space]	バックスペースキー
(4)	[Print Screen/SysRq] [Scroll Lock] [Pause/Break]	プリントスクリーンキー/システムリクエストキー スクロールロックキー ポーズ/ブレークキー
(5)	<pre>[Insert] [Delete] [Home] [End] [Page Up] [Page Down]</pre>	インサートキー デリートキー ホームキー エンドキー ページアップキー ページダウンキー
(6)	【半角/全角】	半角/全角キー
(7)	【Tab】	タブキー
(8)	[Caps Lock]	キャップスロックキー
(9)	[Shift]	シフトキー
(10)	[Ctrl]	コントロールキー

(11)		Windows +-
(12)	[Alt]	オルトキー
(13)	【無変換】	無変換キー
(14)	スペースキー	スペースキー
(15)	【変換】	変換キー
(16)	【カタカナ ひらがな】	かなキー
(17)		アプリケーションキー
(18)	[Enter]	エンターキー
(19)	$[\uparrow] \ [\downarrow] \ [\rightarrow] \ [\leftarrow]$	カーソルキー
(20)	-	テンキー
(21)	[Num Lock]	ニューメリックロックキー
(22)	PS/2 109 キーボード 【Num Lock】 【Caps Lock】 【Scroll Lock】	ニューメリックロックキーランプ キャップスロックキーランプ スクロールロックキーランプ
	USB 109 キーボード 【①】 【 <u>(</u>)】 【 <u>(</u>)】	ニューメリックロックキーランプ キャップスロックキーランプ スクロールロックキーランプ

PS/2 テンキー付き小型キーボード



番号	マニュアルでの表記	名称
(1)	[Esc]	エスケープキー
(2)	[F1] \sim [F12]	ファンクションキー
(3)	[Back Space]	バックスペースキー

(4)	[Insert] [Delete] [Print Screen] [Scroll Lock] [Pause/Break]	インサートキー デリートキー プリントスクリーンキー スクロールロックキー ポーズ/ブレークキー
(5)	【半角/全角】	半角/全角キー
(6)	【Tab】	タブキー
(7)	[Caps Lock]	キャップスロックキー
(8)	【Shift】	シフトキー
(9)	【Fn】	ファンクションキー
(10)	[Ctrl]	コントロールキー
(11)		Windows +-
(12)	[Alt]	オルトキー
(13)	【無変換】	無変換キー
(14)	スペースキー	スペースキー
(15)	【変換】	変換キー
(16)	【カタカナ ひらがな】	かなキー
(17)		アプリケーションキー
(18)	$[\uparrow] [\downarrow] [\rightarrow] [\leftarrow]$	カーソルキー
(19)	-	テンキー
(20)	[Enter]	エンターキー
(21)	[Num Lock]	ニューメリックロックキー
(22)	(①) (反) (⑪)	ニューメリックロックキーランプ キャップスロックキーランプ スクロールロックキーランプ



[020604-17]

日本語入力のオン/オフ

本機は、工場出荷時、日本語入力システムとして Microsoft IME が設定されています。 工場出荷時の状態で日本語入力のオン/オフを切り替えるには【半角/全角】または【Caps Lock】を押してください。 また、入力を行う際の操作方法については、Microsoft IME のヘルプをご覧ください。

Microsoft IME のヘルプ

Microsoft IME の言語バーの「ツール」→「ヘルプ」→「目次とキーワード」をクリック

ホットキー機能(【Fn】の使い方)

PS/2 テンキー付き小型キーボードをお使いの場合、【Fn】と他のキーを組み合わせることで、本機の設定をキー操作で 簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

キー操作	機能	説明
【Fn】 + 【↑】	Page Up	【PgUp】の役割
【Fn】 + 【↓】	Page Dn	【PgDn】の役割
【Fn】+【←】	Home	【Home】の役割
【Fn】+ 【→】	End	【End】の役割

キーボードの設定

[020605-17]

Windows でキーボードをより使いやすく設定することができます。



マウス

	[020900-1	.7]
本機に添付されているマウスの使い方について説明しています。		
マウスについて		53

マウスについて

[020901-17]

マウスモデルの場合、次の種類の USB 接続のマウスが添付されています。

USB レーザーマウス

USB 光センサーマウス







チェック

USB レーザーマウスや USB 光センサーマウスは、マウス底面に光源があり、マウスを置いた操作面をセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような操作面では正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。

- 反射しやすいもの(鏡、ガラスなど)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるもの(透明、半透明な素材を含む)



27.00

マウスの使い方 Windows のヘルプ

スクロールホイールの使い方

チェック

スクロールホイールの機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

USB レーザーマウスの場合

● 垂直スクロール機能

スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。

- 水平スクロール機能
 スクロールホイールを左または右側に傾けると、画面を左右にスクロールさせることができます。
- オートスクロール機能
 スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。

その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。 スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

USB 光センサーマウスの場合

● 垂直スクロール機能

スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。

● オートスクロール機能

スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。 その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。 スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

ディスプレイ

[021000-17]

本機の液晶ディスプレイの表示の調整や表示できる解像度と表示色、表示に関する機能の設定などについて説明しています。

D	使用上の注意	56
Ø	画面表示の調整	57
Ø	表示できる解像度と表示色	58
Ø	外部ディスプレイを接続する	59
Ø	クローンモード機能を使う	61
Ø	デュアルディスプレイ機能を使う	63
Ø	表示するディスプレイの切り替え、または、表示モードを1つのディスプレイに戻す	65
>	ディスプレイの省電力機能	66

使用上の注意

[021001-17]

- リフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定値はセットアップが完了したときに、本体とディスプレイの組み合わせで最も適した値に自動的に設定されます。通常ご使用になるときは設定を変更しないでください。機種によってはリフレッシュレート(垂直走査周波数)の設定を「画面のプロパティ」で変更できる場合がありますが、ディスプレイがサポートしていないリフレッシュレートを設定すると画面が乱れることがあります。
- 別売のディスプレイ PC-KM174、PC-KM212 は使用できません。
- 表示するディスプレイの切り替え、クローンモード機能、デュアルディスプレイ機能を、次のディスプレイでご利用になることができます。
 - 一覧にないディスプレイの組み合わせの場合は、ディスプレイの切り替え、クローンモード機能、デュアルディスプレイ機能が利用できないことがあります。
 - 17 型 TFT 液晶ディスプレイ: LCD-AS172M-C
 - 19型 TFT 液晶ディスプレイ: LCD-AS193Mi-C
 - 20 型ワイド TFT 液晶ディスプレイ: LCD-AS203WMi-C
 - 23 型高精細ワイド TFT 液晶ディスプレイ: LCD-AS232WM-C
- 本機の電源が入っているとき、およびスリープ状態のときに、ディスプレイケーブルの抜き差しは行わないでください。
- クローンモード機能利用時に、プライマリモニタとセカンダリモニタで個別の解像度・色数設定はできません。
- 解像度、表示色、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するソフトを起動したまま行わないで ください。
- 画面モードを多色高解像度、高いリフレッシュレートなどに変更してご利用の場合、ビデオオーバーレイ機能が使用 できない場合があります。このため DVD プレーヤ、メディアプレーヤまたはビデオキャプチャアプリケーションな どが正常に動作しない場合があります。このような場合は、色数、解像度およびリフレッシュレートをより低いもの に変更してご使用ください。
- 接続するディスプレイが、HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)規格に対応していない場合、著作 権保護された映像をデジタル出力できません。
- デュアルディスプレイ機能利用時、アイコンまたはタスクバーがメインディスプレイに正しく表示されない場合があります。

) 参照

デュアルディスプレイ機能利用時にアイコンがメイン ディスプレイに正しく表示されない場合

「トラブル解決 Q&A」の「表示」-「デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい (P. 217)」

[021002-17]

輝度を調整する

参照

本機では、輝度調整ボタンで本機の液晶ディスプレイの輝度を調整することができます。+キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が上がります。-キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が下がります。(19 段階)



輝度調整ボタンについて

「各部の名称」の「各部の名称と説明」-「各部の名称」-「本体側面 (P. 17)」

表示できる解像度と表示色

[021003-17]

本機のグラフィックアクセラレータで表示できる解像度と表示色は接続する外部ディスプレイにより異なります。ディ スプレイごとの表示能力は「仕様一覧」に記載しております。 「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。 http://121ware.com/support/



液晶ディスプレイでは、サポートする最大解像度よりも、解像度を小さく設定した場合は、拡大表示となる ことがあります。拡大表示では、文字の線や太さが不均一になったり、ぼやけた感じになることがあります。

外部ディスプレイを接続する

[021004-17]

本機では、別売の外部ディスプレイを接続して、同時に同じ画面を表示できるクローンモード機能や両方の画面を1つ のディスプレイとして使用できるデュアルディスプレイ機能を利用できます。

本機にディスプレイを接続する場合は、「表示できる解像度と表示色 (P. 58)」をご覧になり、適合するディスプレイを 使用してください。



本機の DisplayPort コネクタに、別売の外部ディスプレイを接続する場合、次の手順で接続してください。

■ 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る





詳しくはディスプレイのマニュアルをご覧ください。

以上でディスプレイの接続は完了です。

クローンモード機能を使う

[021006-17]

本機は、外部ディスプレイを接続したときに、本体の液晶ディスプレイと外部ディスプレイに、同時に同じ画面を表示 できるクローンモード機能があります。液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同時に同じ画面を表示できるので、プ レゼンテーションをするときなどに便利です。



以上でクローンモード設定は完了です。



デュアルディスプレイ機能を使う

[021007-17]

本機では、外部ディスプレイを接続して、本体の液晶ディスプレイと同時に使用できるデュアルディスプレイ機能が利用できます。



デュアルディスプレイ機能の使い方

デュアルディスプレイモードへの変更は、次の手順で行ってください。 デュアルディスプレイ機能を使うには、本機の電源を入れる前に、あらかじめ本機に外部ディスプレイを接続してくだ さい。



参照

別売の外部ディスプレイなどを接続するには 「ディスプレイを接続する (P. 59)」

2 本機の電源を入れる

🥕 チェック

外部ディスプレイを接続している場合、Windows が起動するまで、本体のディスプレイのみに表示されます。

Windows が起動した後に、以下の手順により、どちらか一方のディスプレイに表示させることができます。





9 「適用」をクリック

設定の保存を確認するメッセージが表示されます。

10 「はい」をクリック

111 「インテル[®] HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる

以上でデュアルディスプレイモード設定は完了です。

デュアルディスプレイ機能を終了する場合は「表示するディスプレイの切り替え、または、表示モードを1つのディス プレイに戻す」を参照してください。



表示するディスプレイの切り替え、または、表示モード を1つのディスプレイに戻す

[021005-17]

外部ディスプレイを接続した場合、表示するディスプレイを切り替えたり、クローンモードやデュアルディスプレイモ ードから1つのディスプレイの表示に戻すことができます。



以上で表示するディスプレイの切り替え、または、表示モードを1つのディスプレイに戻す設定は完了です。

ディスプレイの省電力機能

[021009-17]

本機は、VESA(Video Electronics Standards Association)で定義されているディスプレイの省電力モード(DPMS: Display Power Management Signaling)に対応しています。

工場出荷時の設定は、マウスやキーボードからの入力がない状態が続くと、約10分でディスプレイの電源を切るように 設定されています。



- 省電力機能に対応していないディスプレイでは、本機能は使用できません。ディスプレイに損傷を与える 可能性がありますので、ご利用の前にディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- ●「電源オプション」の「ディスプレイの電源を切る」時間の設定と「個人設定」の「スクリーン セーバー」タブの「スクリーン セーバー」の「待ち時間」に同じ時間を設定しないでください。



メモ

本機は、省電力のため自動的にスリープ状態になるように設定してあります。

Web カメラ

	[023600-1]	7]
本機の Web カメラや Web カメラアプリケーション「YouCam 5 BE」について説明しています。		
◎ Web カメラについて	e	58

Web カメラについて

[023602-17]

Ø	「YouCam 5 BE」でできること	68
Ø	「YouCam 5 BE」のインストール	68
D	「YouCam 5 BE」のアンインストール	69

「YouCam 5 BE」でできること

本機の Web カメラでは、動画・静止画の撮影や、本機に添付されている Web カメラアプリケーション「YouCam 5 BE」と組み合わせて以下のような機能を使用することができます。

- カメラに顔が写らなくなったときに、自動でディスプレイの電源を切り、続いてコンピュータをスリープまたは休止 状態に移行する(Face-out)
- コンピュータを監視カメラとして使う
- プレゼンテーションビデオを作成する
- Web カメラ映像にフリーハンドで描画を追加し、インスタントメッセンジャーを利用して、テレビ電話で共有する

) 参照

Web カメラの位置について

「各部の名称」-「各部の名称と説明 (P. 16)」

「YouCam 5 BE」のインストール

「YouCam 5 BE」を使用するには、インストールが必要です。 次の手順でインストールしてください。

🏑 チェック

YouCam 5 BE をインストールすると、YouCam のミラー機能が同時にインストールされます。 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」 画面が表示されたときは、画面の表示を確認し操作してください。

) 参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「「ユーザー アカウント制御」について (P.9)」

🚪 Windows を起動する

光学ドライブに「CyberLink YouCam 5 BE ディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥YouCam¥Setup.exe

以降は画面の指示に従ってください。



■「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で、「YouCam 5 BE」のインストールは完了です。

「YouCam 5 BE」のアンインストール

「YouCam 5 BE」のアンインストールは次の手順で行います。



以上で、「YouCam 5 BE」のアンインストールは完了です。



[021300-17]

本機のハードディスクの使用上の注意などについて説明しています。 SSD モデルでは、ハードディスクの代わりに SSD が内蔵されています。SSD モデルをお使いの場合は、「SSD (P. 72)」 をご覧ください。



[021301-17]

- ハードディスクは非常に精密に作られています。次の点に注意して使用してください。
- ハードディスクのデータを破損させる外的な要因には次のようなものがあります。
 - 過度な振動
 - 高熱
 - 落雷
- データの読み書き中(アクセスランプの点灯中)には、少しの衝撃が故障の原因になる場合があります。
- ハードディスクが故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、お客様が作成した データは再セットアップしても元には戻りません。定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- ハードディスクの領域の作成や削除、フォーマットは「コンピューターの管理」の「ディスクの管理」から行います。
- 本機のハードディスクには、「ディスクの管理」でドライブ文字が割り当てられていない領域が表示されます。この 領域には、再セットアップ時に必要になる再セットアップ用データが格納されています。
 なお、再セットアップ用データの保存されていた領域を削除することはできません。

🥢 チェック

ハードディスク内の大切なデータを守り、トラブルを予防するには、定期的にメンテナンスを行うことも大切です。ハードディスクのメンテナンスについては、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

ハードディスクのデータを保護する

SMART 機能

本機に標準で搭載されているハードディスクは、S.M.A.R.T. (Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology) に対応しているため、ハードディスクの異常を検出し、ハードディスクの故障が予見された場合は警告をします。

) 参照

BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

SSD

	[021400-17]
本機の SSD の使用上の注意について説明しています。	

◎ 使用上の注意.				. 73
-----------	--	--	--	------


[021401-17]

SSD は非常に精密に作られています。次の点に注意して使用してください。

- SSD のデータを破損させる外的な要因には次のようなものがあります。
 - 高熱
 - 落雷
- SSD が故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、お客様が作成したデータは再 セットアップしても元には戻りません。定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- SSD の領域の作成や削除、フォーマットは「コンピューターの管理」の「ディスクの管理」から行います。
- 本機のSSDには、「ディスクの管理」でドライブ文字が割り当てられていない領域が表示されます。この領域には、 再セットアップ時に必要になる再セットアップ用データが格納されています。
 なお、再セットアップ用データの保存されていた領域を削除することはできません。

チェック

SSD 内の大切なデータを守り、トラブルを予防するには、定期的にメンテナンスを行うことも大切です。SSD のメンテナンスについては、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

SSD のデータを保護する

SMART 機能

本機に標準で搭載されている SSD は、S.M.A.R.T. (Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology) に対応しているため、SSD の異常を検出し、SSD の故障が予見された場合は警告をします。



BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

光学ドライブ

[021600-17]

本機の光学ドライブの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

0	使用上の注意	75
Ø	各部の名称と役割	76
Ø	使用できるディスク	77
Ø	読み込みと再生	78
0	書き込みとフォーマット	80
Σ	非常時のディスクの取り出し方	81

使用上の注意

[021601-17]

- 光学ドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- アクセスランプの点灯中は、ディスクを絶対に取り出さないでください。データの破損や本機の故障の原因になります。
- イジェクトボタンを押してからディスクトレイが排出されるまで数秒かかることがあります。
- ディスクの信号面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないように注意してください。
- 本機で、次のような形式や規格、異なった形やサイズのディスクは使用できません。無理に使用した場合、再生や作成ができないだけでなく、破損の原因になる場合があります。
 - AVCHD 形式または AVCREC 形式の DVD
 - 名刺型、星型などの円形ではない、異形ディスク
 - 厚さが1.2mmを大きく越える、または大きく満たないディスク
 - 規格外に容量の大きな書き込みディスク

また、特殊な形状のディスクや、ラベルがはってあるなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、ディスク使 用時に異音や振動が発生する場合があります。このようなディスクは故障の原因になるため、使用しないでください。

- ディスクに飲み物などをこぼした場合、そのディスクは使用しないでください。

光学ドライブを制限する

本機では、BIOS セットアップユーティリティの I/O 制限で、光学ドライブの有効/無効を設定して、使用を制限することができます。

また、添付の DeviceLock で、光学ドライブに対し、読み込みや書き込みを制御することができます。



各部の名称と役割

[021602-17]



非常時ディスク取り出し穴
 非常時に、ディスクトレイを手動で引き出すために使用します。
 イジェクトボタン
 セットしたディスクを取り出すためのボタンです。
 アクセスランプ
 ディスクアクセス中は点灯します。

/ メモ

イジェクトボタンやアクセスランプ、非常時ディスク取り出し穴の位置や形状は、モデルによって図と多少 異なることがあります。

使用できるディスク

[021603-17]

お使いのモデルにより、内蔵の光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

http://121ware.com/support/

ディスク利用時の注意

- 記録用の DVD には、録画用(for Video)とデータ用(for Data)とがありますので、ご購入の際にはご注意ください。
- DVD-RAMには、カートリッジなしのディスクと、TYPE1(ディスク取り出し不可)、TYPE2(ディスク取り出し可能)、TYPE4(ディスク取り出し可能)の4種類があります。本機の光学ドライブでは、カートリッジなし、またはカートリッジからディスクを取り出せるタイプ(TYPE2、TYPE4)のみご利用になることができます。ご購入の際には、ご注意ください。
- 片面 2.6GB の DVD-RAM および両面 5.2GB の DVD-RAM は使用できません。
- 両面 9.4GB の DVD-RAM は面ごとに 4.7GB の記録/再生が可能です。同時に両面への記録/再生はできません。 ディスクを取り出して、裏返して使用してください。

読み込みと再生

[021604-17]

本機の光学ドライブで、読み込みや再生ができるディスクについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」より お使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

http://121ware.com/support/

また、本機でDVDを再生するには、添付の「CyberLink PowerDVD」を使用してください。



- CyberLink PowerDVDは、工場出荷時にはインストールされていません。
- CyberLink PowerDVDでは音楽CD、ビデオCD、およびDVD-Audioは再生できません。



CyberLink PowerDVDについて

「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink PowerDVD (P. 198)」

ディスク再生時の注意

本機でDVD、CDの読み込みや再生を行うときは、次のことに注意してください。

- 本機で記録したDVD、CDを他の機器で使用する場合、フォーマット形式や装置の種類などにより使用できない場合 があります。
- 他の機器で記録したDVD、CDは、ディスク、ドライブ、記録方式などの状況により、本機では再生および再生性能 を保証できない場合があります。
- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や取り込みができないことがあります。
- 本機で音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面に規格準拠を示すCompact Discのマークの付いたディスクを使用してください。
- CD (Compact Disc) 規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。
- CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。
- 本機では、リージョンコード(国別地域番号)が「ALL」または「2」が含まれているDVDのみ再生することができます。
- 本機で再生できるCDまたはDVDのディスクサイズは8センチと12センチです。
- DVDや動画を再生する際は、再生に使用するアプリケーション以外のソフトウェアを終了することをおすすめします。本機での動画再生には高い処理能力が必要とされ、お使いのモデルや設定によっては、複数のアプリケーションを実行している状態で動画再生を行うと、映像の乱れやコマ落ちが発生する場合があります。
- 「ECOモード機能」で、省電力を優先する電源プランを割り当てているモードを選択している場合、DVDや動画の再 生品質が低下する可能性があります。そのような場合は、「標準」などの性能を優先するモードを選択してくださ い。



- 本機で DVD を再生する場合、次のことに注意してください。
 - デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに1
 つのディスプレイで動画の再生をしてください。
 - DVDの再生画面の上に他のウィンドウを重ねると、コマ落ちや音飛びが発生したり、再生画面にゴミが残る場合があります。DVDの再生中は、再生画面の上に他のウィンドウを重ねないでください。
 - DVD の再生時に画面がちらつく場合があります。また、再生する DVD の種類によっては、コマ落ちが発生する 場合があります。

書き込みとフォーマット

[021605-17]

DVD スーパーマルチドライブモデルで、DVD、CD への書き込み、書き換え、およびフォーマットをするには、「CyberLink Power2Go」を使用してください。

う 参照

CyberLink Power2Go について

「便利な機能とアプリケーション」の「CyberLink Power2Go (P. 195)」



メモ

DVD、CDへの書き込みは Windows の機能でも行うことができます。選択可能な各フォーマットの説明については Windows のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 書き込みに失敗した DVD、CD は読み込みできなくなります。書き込みに失敗したディスク、およびディスクに記録 されていたデータの補償はできませんのでご注意ください。
- データの書き込みを行った後に、データが正しく書き込まれているかどうかを確認してください。
- 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他の光学ドライブでは使用できない場合がありますのでご注意ください。
- お客様がオリジナルの CD-ROM、音楽 CD、ビデオ CD、および DVD-Video などの複製や改変を行う場合、著作権 を保有していなかったり、著作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許諾条件に違反 することがあります。複製などの際は、オリジナルの CD-ROM などの利用許諾条件や複製などに関する注意事項に 従ってください。
- コピーコントロール CD などの一部の音楽 CD は、現在の Compact Disc の規格外の音楽 CD です。規格外の音楽 CD については、音楽の再生や音楽 CD の作成ができないことがあります。

非常時のディスクの取り出し方

[021606-17]

停電やソフトウェアの異常動作などにより、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、非常時 ディスク取り出し穴に太さ 1.3mm 程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。針金は太めのペ ーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。



- 強制的にディスクを取り出す場合は、本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。
- 光学ドライブのイジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこないといった非常時以外は、非常時 ディスク取り出し穴を使用して取り出さないようにしてください。



[021700-17]

本機の音量の調節や、サウンド機能に関する設定などについて説明しています。

0	音量の調節	83
D	マイクの設定	85



[021702-17]

音量ミキサーを使う

Windows の「音量ミキサー」で音量を調節することができます。

🚺 タスク バーの通知領域の🚺(音量)をクリック



「音量ミキサー」が表示されます。

3 調節したいデバイスやアプリケーションのスライダで音量を調節する



録音音量の調節

本機で録音音量を調節する場合は次の手順で行ってください。





タスク バーの通知領域の
()
(音量)を右クリックし、表示されたメニューから「録音デバイ ス」をクリック



🧪 チェック

- 使用する録音デバイスが表示されていない場合は「次のオーディオ録音デバイスがインストール されています」の枠内を右クリックし、「無効なデバイスの表示」にチェックを入れ、表示され たデバイスを有効にしてください。
- 録音デバイスが複数ある場合は、使用するデバイスをクリックし、「既定値に設定」ボタンをク リックしてください。
- 4 「レベル」タブをクリックし、表示される画面で録音音量を調節する



6 「OK」ボタンをクリック

チェック

「ステレオ ミキサーのプロパティ」の「聴く」 タブで「このデバイスを聴く」 にチェックを入れないでくださ い。チェックを入れると、常時ハウリングが発生します。



[021706-17]

「Realtek HD オーディオマネージャ」で設定する

「Realtek HD オーディオマネージャ」でマイクの設定を行うことができます。マイクの設定では、マイクでの録音時の ノイズ抑制やエコーの軽減機能、ビームフォーミング機能の設定などが行えます。マイクの設定は、次の手順で行って ください。

1 タスク バーの通知領域の ▲ をクリックし、 (Interpreted to A the A

「Realtek HD オーディオマネージャ」が表示されます。

2 「マイク」タブをクリック

3 設定する機能にチェックを付ける

設定できる機能には次のものがあります。

機能	説明
ノイズ抑制	録音時のノイズ抑制を行います。
音響エコーキャンセル	録音時にスピーカが引き起こすエコーを軽減します。
ビームフォーミング	ステレオマイク使用時に、マイクを向けていない方向からの雑音を軽減しま す。

5 設定が完了したら「OK」ボタンをクリック

以上でマイクの設定は完了です。

LAN 機能

[021800-17]

本機のLAN(ローカルエリアネットワーク)機能を使用する際の注意や設定などについて説明しています。

0	本機を安全にネットワークに接続するために	87
Ø	使用上の注意	89
D	LAN への接続	90
Ø	LAN 機能の設定	92
0	リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能	94
٥	ネットワークブート機能(PXE 機能)	99

本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-17]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最 新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機の LAN 機能や無線 LAN 機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。

チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってくだ さい。



Windowsのセキュリティ機能(アクション センター)では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウ ェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、 コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくは Windowsのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめ します。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーション を使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。

🔎 参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 204)」

ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されています。このような コンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール(パーソナルファイアウォール)を利用することをおす すめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。 また、本機にインストールされている OS では、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。 「Windows ファイアウォール」について、詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

Windows[®] Update、または Microsoft[®] Update

最新かつ重要なセキュリティに関する更新プログラムが提供されています。

Windows を最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的に Windows[®] Update、または Microsoft[®] Update を実施してください。



- PC の安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows[®] Update、または Microsoft[®] Update を可能 な限り OS のセットアップ直後に実施してください。アップデートの前に Internet Explorer のダウング レードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。



[021802-17]

LAN に接続して本機を使用するときは、次の点に注意してください。

- システム運用中は、LAN ケーブルを外さないでください。ネットワークが切断されます。ネットワーク接続中に LAN ケーブルが外れたときは、すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用できない場合は、 Windows を再起動してください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ネットワークの通信中にはスリー プ状態または休止状態にしないでください。
- ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または 休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。 あらかじめ、お使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用 してください。
- 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T システムの保守については、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

ユニバーサル管理アドレスについて

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE(米国電気電子技術者協会)で管理されているアドレスで、主に他のネットワーク に接続するときなどに使用します。次のコマンドを入力することで、LANのユニバーサル管理アドレスを確認すること ができます。

コマンドプロンプトで次のいずれかのコマンドを入力し、【Enter】を押してください。

コマンド	確認方法
net config workstation	アダプタがアクティブな場合、「アクティブなネットワーク(ワークステーショ ン)」という項目の()内に表示されます。
ipconfig /all	アダプタごとに「物理アドレス」として表示されます。

LAN への接続

[021803-17]

本機には、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T(ギガビットイーサネット)対応の LAN 機能が搭載されています。

LAN の設置

初めてネットワークシステムを設置するためには、配線工事などが必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス 窓口にお問い合わせください。また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、当社製品を使用してください。他社製 品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

接続方法

本機をネットワークに接続するには、別売の LAN ケーブルが必要です。LAN ケーブルは、10BASE-T で接続するにはカ テゴリ 3 以上、100BASE-TX で接続するにはカテゴリ 5 以上、1000BASE-T で接続するにはエンハンスドカテゴリ 5 以上の LAN ケーブルを使用してください。また、ネットワーク側のコネクタに空きがない場合、ハブやスイッチでコネ クタを増やす必要があります。LAN ケーブルの接続は次の手順で行います。



チェック

- 本機を稼働中の LAN に接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定と LAN ケーブルの接続を行ってください。
- 搭載されている LAN アダプタは、接続先の機器との通信速度(1000Mbps/100Mbps/10Mbps)を自動 検出して最適な通信モードで接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。なお、セット アップが完了したときに、オートネゴシエーション機能は有効に設定されています。接続先の機器がオー トネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、「ネットワークのプロパティ」で通信モードを接 続先の機器の設定に合わせるか、接続先の機器の通信モードを半二重に設定してください。
- オートネゴシエーションのみサポートしているネットワーク機器でリンク速度を固定して接続する場合、 「速度とデュプレックス/スピードと二重」の設定は「ハーフデュプレックス/半二重」に設定してくだ さい。「フルデュプレックス/全二重」を選択すると、通信速度が異常に遅かったり、通信ができないな どの問題が発生します。

本機の電源を切る



3 ハブなどのネットワーク機器に、LAN ケーブルのもう一方のコネクタを接続する

ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機器のマニュアルをご覧ください。

[021804-17]

ここでは、LAN に接続するために必要なネットワークのセットアップ方法を簡単に説明します。



以上でネットワーク接続のセットアップは完了です。 続いて、コンピュータ名などの設定を行います。

接続するネットワークとコンピュータ名の設定

接続するネットワークに関する設定と、ネットワークで表示されるコンピュータ名を設定します。



以上で LAN の設定は完了です。

リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能

[021805-17]

本機における LAN によるリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能(以降、WoL)は次の通りです。

- 電源の切れている状態から電源を入れる
- スリープ状態や休止状態からの復帰

WoLを使うように本機を設定している場合、本機の電源が切れているときも、LAN アダプタには通電されています。 管理者のパソコンから本機にパワーオンを指示する特殊なパケット(Magic Packet)を送信し、そのパケットを本機の 専用コントローラが受信するとパワーオン動作を開始します。

これにより、管理者のパソコンが離れた場所にあっても、LAN で接続された本機の電源を入れたり、スリープ状態や休止状態からの復帰をさせることができます。



- WoL を利用するためには、管理者パソコンに Magic Packet を送信するためのソフトウェア(WebSAM Client Manager など)のインストールが必要です。また、本機の BIOS 設定が必要になります。
- 前回のシステム終了(電源を切る、スリープ状態にする、休止状態にする)が正常に行われなかった場合、WoLを行うことはできない、または WoL で起動しても LAN が正常に動作しないことがあります。
 一度電源スイッチを押して Windows を起動させ、再度、正常な方法でシステム終了を行ってください。
- WoL を使用する場合は 10M/100M/1000M Auto-negotiation 機能を搭載したハブを使用してください。
 サポートする速度が 1000Mbps のみのハブでは WoL は使用できません。

電源の切れている状態から WoL を利用するための設定

電源が切れている状態からの WoL を利用するには、次の設定を行ってください。

■ 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

🥢 チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに 【F2】を数回押してください。



参照

BIOS セットアップユーティリティについて 『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」



「Power」メニューにある「Automatic Power On」メニューの「Wake on LAN」を 「Primary」または「Automatic」に設定する



チェック

「Primary」に設定すると「Startup」メニューの「Primary Boot Sequence」の順位で、「Automatic」 に設定すると「Startup」メニューの「Automatic Boot Sequence」の順位で起動します。



起動デバイスの設定

参照

『システム設定』の「システム設定」-「設定項目一覧」-「「Startup」メニュー」



3 【F10】を押す

確認の画面が表示されます。



設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が起動します。

- 「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く 5
- 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック
- 表示された LAN アダプタをダブルクリック
- 8 「詳細設定」タブをクリック
- 「プロパティ」欄の「ウェイク・オン・マジック・パケット」をクリック
- 「値」欄で「有効」を選択する 10
- **11** 「OK」ボタンをクリック
- 12 再度表示された LAN アダプタをダブルクリック
- 「電源の管理」タブをクリック
- 14 次の項目を確認し、チェックが付いていない場合はチェックを付ける
 - 「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」
 - 「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」
 - 「Magic Packet でのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」



以上で設定は完了です。

電源の切れている状態から WoL を利用する設定の解除

電源の切れている状態からの WoL を利用する設定を解除する場合は、次の手順で設定を行ってください。

📕 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

🏑 チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに 【F2】を数回押してください。

● 参照

BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」



「Power」メニューにある「Automatic Power On」メニューの「Wake on LAN」を 「Disabled」に設定する

【F10】を押す

確認の画面が表示されます。



「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が起動します。

5 「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く





以上で設定は完了です。

ネットワークブート機能(PXE機能)

[021806-17]

ネットワークから起動して管理者パソコンと接続し、次の操作を行うことができます。

- OS インストール
- BIOS フラッシュ(BIOS ROM の書き換え)
- BIOS 設定変更

ネットワークブートを使用する場合は、BIOS セットアップユーティリティで設定を行ってください。

1 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

🧪 チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに 【F2】を数回押してください。

● 参照

BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

2 「Devices」メニューにある「Network Setup」メニューの「Boot Agent」を「PXE」に設定する

■【F10】を押す

確認の画面が表示されます。

- 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

5 すぐに【F2】を数回押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

Startup」メニューにある「Primary Boot Sequence」メニューで「Network 1」を選択し、【+】を押して最上位に設定する



確認の画面が表示されます。

8 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上でネットワークブートを使用するための設定は完了です。

無線 LAN 機能

[021900-17]

本機の無線 LAN 機能の概要について説明しています。

٥	概要	102
>	本機を安全にネットワークに接続するために	104
Ø	無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意	106
Ø	使用上の注意	108
Ø	無線 LAN 機能のオン/オフ	110
Ø	無線 LAN の設定と接続	112
D	無線 LAN に関する用語一覧	122

[021901-17]

無線 LAN 機能でできること

無線 LAN 機能を使用することで、次のようなことができます。

無線 LAN 対応周辺機器との無線接続

本機と無線 LAN に対応した別売の周辺機器を使用すると、ケーブルで接続せずに LAN を利用できます。例えば、無線 LAN に対応したルータやターミナルアダプタなどを利用してインターネットに接続できます。

他の無線 LAN 対応コンピュータとの無線通信

本機と無線 LAN に対応した他のコンピュータとの間で、ケーブル接続やメモリーカードなどの媒体を使用せずに、ファ イルのコピーなどが行えます。



- 無線 LAN 機能は、周囲にある IEEE802.11a (5GHz)、IEEE802.11b (2.4GHz)、IEEE802.11g
 (2.4GHz)、IEEE802.11n (2.4/5GHz) および IEEE802.11ac (5GHz) に対応した無線 LAN 機器を検出し、このうち1台を選択して接続できます。
- 40MHz、80MHzの帯域幅を利用した無線 LAN 通信を行うには、接続先の無線 LAN 機器もそれらの帯域 幅に対応している必要があります。
- IEEE802.11n(2.4/5GHz)規格、または IEEE802.11ac(5GHz)規格による無線通信を行う際は、暗 号化方式を AES に設定してください。それ以外の方式に設定した場合、これらの規格が利用できません。
- WPA エンタープライズ、WPA2 エンタープライズまたは認証機能(IEEE802.1X)を使用した接続を 行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。
- IEEE802.11a(5GHz)モード、IEEE802.11n(2.4/5GHz)モード、IEEE802.11ac(5GHz)モードでのアドホック接続はサポートしていません。

無線 LAN 機能使用上の注意

- 通信速度・通信距離は、無線 LAN 対応機器や電波環境・障害物・設置環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が離れるに従って通信速度が低下する傾向があります。より快適にお使いいただくために、
 無線 LAN 対応機器同士は近い距離で使用することをおすすめします。
- 2.4GHz 周波数帯を利用する機器(電子レンジなど)を同時に使用した場合、2.4GHz 無線 LAN 対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。2.4GHz 無線 LAN 対応機器と 2.4GHz 周波数帯を利用する機器(電子レンジなど)は離して使用することをおすすめします。
- Bluetooth 機能と無線 LAN 機能を同時に使用した場合、それぞれの通信速度や通信距離が低下する場合があります。
- 2.4GHz 無線 LAN 対応機器と Bluetooth 機器など、同じ周波数帯を利用する機器を同時に使用した場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。同じ周波数帯を利用する機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。
- ネットワークへの接続には、別売の無線 LAN アクセスポイントなどが必要です。

- 医療機関で使用する場合には、医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか無線 LAN 機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか無線 LAN 機能をオフにしてください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が 終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ 状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーショ ンを使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認の上、スリープ状態または 休止状態を使用してください。



無線 LAN 機能のオン/オフについて 「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 110)」

無線 LAN 対応製品との接続

無線 LAN 対応製品

本製品と接続できる無線 LAN 対応製品には、無線 LAN 内蔵コンピュータ、無線 LAN アクセスポイント、無線 LAN 周辺 機器などがあります。

無線 LAN 機器同士の接続互換性については、業界団体 Wi-Fi Alliance による「Wi-Fi[®]」認定を取得している、同じ規格の製品をご購入されることをおすすめします。

本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-17]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最 新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機の LAN 機能や無線 LAN 機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。

チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってくだ さい。



Windowsのセキュリティ機能(アクション センター)では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウ ェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、 コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくは Windowsのヘルプをご覧ください。

セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめ します。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーション を使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。

🔎 参照

マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 204)」

ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されています。このような コンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール(パーソナルファイアウォール)を利用することをおす すめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。 また、本機にインストールされている OS では、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。 「Windows ファイアウォール」について、詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

Windows[®] Update、または Microsoft[®] Update

最新かつ重要なセキュリティに関する更新プログラムが提供されています。

Windows を最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的に Windows[®] Update、または Microsoft[®] Update を実施してください。



- PC の安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows[®] Update、または Microsoft[®] Update を可能 な限り OS のセットアップ直後に実施してください。アップデートの前に Internet Explorer のダウング レードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する ご注意

[021902-17]

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線 LAN アクセスポイント間で 情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。 その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を 行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者によって、電波を故意に傍受され、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者によって、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持って いますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は 少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリ ティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用 ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本機で設定できるセキュリティ

盗聴(傍受)を防ぐ

WEP 機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間の無線 LAN 通信データを暗号化で きるので、通信の盗聴や、関係のないコンピュータや機器からの接続を防ぐことができます。WEP 機能には 64bitWEP 対応、128bitWEP 対応、152bitWEP 対応のものがあり、本機の無線 LAN 機能は、64bitWEP と 128bitWEP に対応し ています。 ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたり する可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。



チェック

WEP 機能を利用するには、接続する無線 LAN 対応機器も WEP 機能に対応している必要があります。

不正アクセスを防ぐ

- 無線 LAN アクセスポイントに任意のネットワーク名(SSID)を設定することで、同じ SSID を設定していない通信 機器からの接続を回避できます。 ただし、同じ SSID を設定していない機器でも、そのネットワークがどんな SSID を使用しているかは検出できてしまうため、SSID を設定しただけではセキュリティを保てません。これを回避する には、無線 LAN アクセスポイント側で SSID を通知しないように SSID の隠ぺいの設定をする必要があります。
- 接続するコンピュータなどの MAC アドレス(ネットワークカードが持っている固有の番号)を無線 LAN アクセスポイントに登録することで、登録した機器以外は無線 LAN アクセスポイントに接続できなくなります(MAC アドレスフィルタリング)。

より高度なセキュリティ設定を行う

Wi-Fi Alliance が提唱する WPA (Wi-Fi Protected Access) や WPA2 機能を利用します。IEEE802.1X/EAP (Extensible Authentication Protocol) 規格によるユーザー認証、WEP 機能に比べて大幅に暗号解読が困難とされる暗号化方式 TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) や AES (Advanced Encryption Standard) を使用することで、より高度なセキュリティ設定が行えます。



チェック

WPA 機能を利用するには、接続する無線 LAN 対応機器とネットワーク環境が WPA 機能をサポートしている 必要があります。WPA2 機能を利用するには、接続する無線 LAN 対応機器とネットワーク環境が WPA2 機 能をサポートしている必要があります。

使用上の注意

[021903-17]

- 本製品には、2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz 全帯域(2.4GHz ~2.4835GHz)を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域(2.427GHz~2.47075GHz)が回避可能です。
 変調方式として DS-SS 方式と OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品には、5GHz 帯小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品に内蔵されている無線設備は、5GHz 帯域(5.15GHz~5.35GHz、5.47GHz~5.725GHz)を使用しており、以下のチャンネルに対応しています。
 - W52 : Ch36 (5180MHz) ,Ch40 (5200MHz) ,Ch44 (5220MHz) ,Ch48 (5240MHz)
 - W53 : Ch52 (5260MHz) , Ch56 (5280MHz) , Ch60 (5300MHz) , Ch64 (5320MHz)
 - W56 : Ch100 (5500MHz) ,Ch104 (5520MHz) ,Ch108 (5540MHz) ,Ch112 (5560MHz) ,Ch116 (5580MHz) ,Ch120 (5600MHz) ,Ch124 (5620MHz) ,Ch128 (5640MHz) ,Ch132 (5660MHz) ,Ch136 (5680MHz) ,Ch140 (5700MHz)
- W52、W53 無線 LAN の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。

分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。 また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。

- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格(RCR STD-38)」に基づく基準値を 下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に 影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用する と、それらの機器に影響を与えることがあります(本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどう か判別できます)。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
 - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
 - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
 - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線(CB 無線)やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。
 詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波 数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。
ワイヤレス注意ラベル(本体底面)

● IEEE802.11a/b/g/n/ac に対応していて、かつ Bluetooth にも対応している場合



無線 LAN 機能のオン/オフ

[021904-17]

無線 LAN 機能のオン/オフを切り替えるには、次の方法があります。

◎ 「ワイヤレス ネットワーク接続」で切り替える.... 110



「ワイヤレス ネットワーク接続」で切り替える

Windows 標準の無線 LAN 機能を使って、無線 LAN 機能のオン/オフを切り替えることができます。

オンにする場合

- ┨┫「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック
- 2 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック
- 🛃 左側の「アダプターの設定の変更」をクリック
- 4 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、表示されたメニューから「有効にする」を クリック

オフにする場合

1 「スタート」 ボタン→ 「コントロール パネル」 をクリック

「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

を創の「アダプターの設定の変更」をクリック



4 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、表示されたメニューから「無効にする」を クリック

無線 LAN の設定と接続

[021905-17]

D	無線 LAN の設定をする	113
٥	セキュリティとデータの暗号化について	118
Ø	設定済みの接続先に接続する	119
Ø	接続を切断する	120
Ø	接続の確認	121

🎽 メモ

- セキュリティ設定や周囲の無線環境によっては、接続までに時間がかかる場合や、通信速度が低下する場合があります。
- WPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応した無線LAN アクセスポイントと接続する場合、PIN の入力や、 ルーターのボタンを押すことを要求する画面が表示されることがあります。
 これらの操作でも無線LAN アクセスポイントと接続できますが、機器の組み合わせによっては接続に失敗することもありますので、その場合はセキュリティキーを入力して接続を行ってください。
- WPS で接続する場合は、セキュリティが自動的に設定されます。
 設定されたセキュリティについては、無線 LAN アクセスポイントの設定画面かマニュアルなどで確認してください。
- PINの記載箇所については、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- 「電源の管理」タブの設定は変更しないでください。
- IEEE802.11n 規格による無線 LAN 通信において、2.4GHz 帯のチャンネルを 40MHz 幅で接続する場合 は、次の手順で設定を確認してください。
 - 1 「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く
 - 2 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック
 - 3 「Intel(R) Dual Band Wireless-AC 8260」をダブルクリック
 - 4 「詳細設定」タブをクリック
 - **5** 「プロパティ」欄で「2.4 GHz 用 802.11n チャネル幅」を選択する
 - 6 「値」欄が「自動」になっているかを確認する

「自動」になっていない場合は、▼をクリックして「自動」を選択してください。

7 「OK」ボタンをクリック



無線 LAN の設定をする

接続する機器によって、設定手順が異なります。お使いの環境にあわせて設定を行ってください。

ネットワーク名(SSID)を通知する無線 LAN アクセスポイントに接続する場合

■ 無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオン にしてください。

参照 無線 LAN 機能のオン/オフについて 「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 110)」



🖡 「ネットワーク設定の変更」欄の「ネットワークに接続」をクリック

ネットワーク名(SSID)と信号状態の一覧が表示されます。

接続する無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名(SSID)をクリック

チェック

- 選択した無線 LAN アクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名(SSID)を確認してく ださい。
- ネットワーク名 (SSID) の一覧に接続するネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、 ボタンをクリックしてください。それでもネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、無線 LAN アクセスポイントがネットワーク名 (SSID) を通知しない設定になっている場合がありま す。無線 LAN アクセスポイントの設定を確認し、「ネットワーク名 (SSID) を通知しない無線 LAN アクセスポイントに接続する場合 (P. 114)」の手順で設定を行ってください。



/ メモ

- ●「自動的に接続する」のチェックを外した場合、設定は保存されません。
- 自動的に接続する設定は、後から変更できます。



これで設定は完了です。

ネットワーク名(SSID)を通知しない無線 LAN アクセスポイントに接続する場合

無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオン にしてください。

- 参照

無線 LAN 機能のオン/オフについて

「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 110)」



4 「ネットワーク設定の変更」欄の「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

5」「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

ワイヤレス ネットワークの情報を入力する画面が表示されます。

.....

6「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを付ける

■ 接続先の無線 LAN アクセスポイントにあわせて設定を行う

- 「ネットワーク名」
 接続先の無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名(SSID)を入力します。
- 「セキュリティの種類」、「暗号化の種類」
 接続先の無線 LAN アクセスポイントの設定にあわせて選択します。
 セキュリティと暗号化の種類については、「セキュリティとデータの暗号化について (P. 118)」をご覧ください。
- 「セキュリティ キー」
 接続先の無線 LAN アクセスポイントに設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力 します。
- 「この接続を自動的に開始します」
 チェックを付けると、接続先が通信可能範囲にある場合、自動で接続するように設定されます。

8 「次へ」ボタンをクリック

9 「正常に <ネットワーク名 (SSID) > を追加しました」と表示されたら、次の手順を行う

- 設定を変更しない場合
 手順 10 に進んでください。
- 設定を変更する場合
 「接続の設定を変更します」をクリックし、表示される画面で設定を行ってください。
 設定が完了したら「OK」ボタンをクリックし、手順 10 へ進んでください。



接続先の無線 LAN アクセスポイントに WEP キーが設定されており、暗号化キー番号(キーインデックス)が「1」以外に設定されている場合は、ここで設定を変更する必要があります。「接続の設定を変更します」をクリックし、「セキュリティ」タブの「キー インデックス」で設定を行ってください。

10 「閉じる」ボタンをクリック

これで設定は完了です。

手順7で「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けなかった場合は、「設定済みの接続先に接続する (P. 119)」 をご覧になり、手動で接続を行ってください。

コンピュータ同士で通信(アドホック通信)する場合



- 本機では、IEEE802.11a (5GHz) モード、IEEE802.11n (2.4/5GHz) モード、IEEE802.11ac (5GHz) モードでのアドホック接続はサポートしていません。
- アドホック接続の通信状況が不安定な場合は、一度接続を切断してから電波状況のよい場所にコンピュー 夕を移動させ、再度接続設定を行ってください。

●他のコンピュータに本機を接続する場合

アドホック接続の設定が完了している他のコンピュータと本機を接続する場合は次の手順で行います。



「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオン にしてください。

参照
 無線 LAN 機能のオン/オフについて
 「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 110)」



💦 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

- 「ネットワーク設定の変更」欄の「ネットワークに接続」をクリック

ネットワーク名(SSID)と信号状態の一覧が表示されます。

5 接続先のコンピュータのネットワーク名(SSID)を選択して、「接続」ボタンをクリック

6 「セキュリティ キー」または「パスフレーズ」の入力を要求する画面が表示された場合は、接続先に設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力して、「OK」ボタンをクリック

これで設定は完了です。

●他のコンピュータが本機に接続できるようにする場合

他のコンピュータが接続できるように本機を設定するには次の手順で行います。

無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオン にしてください。) 参照

無線 LAN 機能のオン/オフについて 「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 110)」



設定済みのアドホック接続を接続待ちの状態にする場合は次の手順で行います。

📄 無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオン にしてください。 **無線 LAN 機能のオン/オフについて** 「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 110)」



以上で設定は完了です。

セキュリティとデータの暗号化について

セキュリティと暗号化の方式は、無線 LAN アクセスポイントや接続する機器同士で設定をあわせる必要があります。 本機の無線 LAN 機能で設定できる、セキュリティと暗号化の方式は次の通りです。

選択できるセキュリティと暗号化の方式

●無線 LAN アクセスポイントに接続する場合

セキュリティの種類	暗号化の種類
認証なし (オープン システム)	なし、WEP
共有キー	WEP
WPA2 - パーソナル	TKIP、AES
WPA - パーソナル	
WPA2 - エンタープライズ	
WPA - エンタープライズ	
802.1X	WEP

●コンピュータ同士で通信(アドホック通信)する場合

セキュリティの種類	暗号化の種類
認証なし (オープン システム)	なし、WEP
WPA2 - パーソナル	AES

メモ

- セキュリティは設定することを強く推奨します。セキュリティの設定を行わない場合は、「無線 LAN 製品 ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 (P. 106)」の内容をご確認の上、使用してください。
- WPA2 エンタープライズ、WPA エンタープライズ、および認証機能(IEEE802.1X)を使用した接続 を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

ネットワーク セキュリティ キー

データの暗号化を行う場合、ネットワーク セキュリティ キーを設定します。 ネットワーク セキュリティ キーは、通信を行う無線 LAN アクセスポイントや相手のコンピュータと同じ設定にします。

暗号化の方式と、ネットワーク セキュリティ キーとして使用できる文字種と文字数は以下の通りです。

●WEP の場合

キーの長さが長い(bit 数が大きい)ほど、通信内容の解読がされにくくなり、安全性が高くなります。

入力形式	長さ	キーに使用する文字	説明
ASCII テ キスト	64bit	半角英数字で 5 文字	相手の機器が 64bit 暗号キーに対応している場合に使えます。64bit のうち 40bit をユーザーが指定し、24bit はシ
16 進数		16 進数(0~9、A~F の半角英数 字)で 10 文字	テムか設定します。
ASCII テ キスト	128bit	半角英数字で 13 文字	相手の機器が 128bit 暗号キーに対応している場合に使えま す。128bit のうち 104bit をユーザーが指定し、24bit はシ
16 進数		16 進数(0~9、A~F の半角英数 字)で 26 文字	ステムか設定します。

●WPA - パーソナル(TKIP、AES)または WPA2 - パーソナル(TKIP、AES)の場合

入力されたネットワーク セキュリティ キーを元にして、一定時間ごとにキー自体が自動更新されるため、WEP よりも 安全性が高くなります。

入力形式	キーに使用する文字
ASCII テキスト	半角英数字で8文字以上63文字以下
16 進数	16 進数(0~9、A~F の半角英数字)で 64 文字

チェック

WPA - パーソナルや WPA2 - パーソナルによる暗号化を使用するには、接続する相手の機器も同じセキュリ ティ機能に対応している必要があります。

設定済みの接続先に接続する

設定済みの接続先に接続するには、次の手順で行います。

無線 LAN 機能がオンになっていることを確認する

「無線 LAN 機能のオン/オフ」をご覧になり、無線 LAN 機能がオフになっている場合は、無線 LAN 機能をオン にしてください。



表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。



以上で接続は完了です。

接続を切断する

接続中のネットワーク接続を切断するには、次の手順で行います。

🚹 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン (📶) をクリック

ネットワーク名(SSID)と信号状態の一覧が表示されます。

チェック 表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。



接続の状態の表示は、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

以上で切断は完了です。

接続の確認

接続の状態を確認するには、次の手順で行います。



🚹 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン(📶)をクリック

ネットワーク名(SSID)と信号状態の一覧が表示されます。

チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。



状態を確認したい接続先にマウスカーソルを合わせる

接続先の詳細な情報が表示されます。



無線 LAN の設定について

Windows 標準の無線 LAN 機能の詳細については、Windows のヘルプをご覧ください。

無線 LAN に関する用語一覧

[021913-17]

ここでは無線 LAN に関する用語について説明します。無線 LAN の設定をするときにご覧になると便利です。

用語	説明			
AES	Advanced Encryption Standard の略。 米国政府内での情報処理用に採用された「次世代標準暗号化方式」のこと。規定の 基準(暗号強度、処理速度など)を満足しており、その仕様も公開されていること から、広い分野での利用が行われている。IEEE802.11iの暗号化方式の1つに採 用されている。			
ANY プローブ応答禁止	SSID の問い合わせを拒否する設定。			
ANY 接続拒否	SSID を「ANY」にセットした無線 LAN 端末もしくは SSID に任意の文字列を入 れた端末からの接続を拒否する設定。			
EAP	Extensible Authentication Protocol の略。 任意の認証機能を用いるための仕様。ダイヤルアップで用いられる PPP(Point- to-Point Protocol)の拡張として開発された。 ユーザー名・パスワード以外にもスマートカード(IC カード)やデジタル証明書 などさまざまな認証方式をサポートできる。EAP-TLS、EAP-TTLS などがある。			
EAP-TLS	Transport Layer Security の略。 EAP 方式の認証プロトコルの1つで、利用にはクライアント証明書とサーバ証明 書が必要となる。			
EAP-TTLS	Tunneled Transport Layer Security の略。 EAP 方式の認証プロトコルの1つで、EAP-TLS とは異なり、クライアント証明書 は必要とせず、代わりにユーザー名・パスワードが用いられる。			
IEEE802.11a	IEEE が標準化した 5GHz 帯の電波を使い最大 54Mbps の転送速度の無線 LAN の 物理層の規格。			
IEEE802.11b	IEEE が標準化した 2.4GHz 帯の電波を使い最大 11Mbps の転送速度の無線 LAN の物理層の規格。			
IEEE802.11g	IEEE が標準化した 2.4GHz 帯の電波を使い最大 54Mbps の転送速度の無線 LAN の物理層の規格。			
IEEE802.11i	IEEE が標準化を進めている「無線 LAN 用セキュリティ規格」認証方式や暗号化方式、暗号化キーの取り扱いなどについて規定している。			
IEEE802.11n	IEEE が標準化した 2.4GHz、5GHz 帯のいずれかの電波を使い最大 600Mbps(理 論値)の転送速度の無線 LAN の物理層の規格。			
IEEE802.11ac	IEEE が標準化した 5GHz 帯の電波を使い最大 6.93Gbps(理論値)の転送速度の 無線 LAN の物理層の規格。			
IEEE802.1X	無線 LAN 上で認証と動的なキーの生成と配送を行う仕組み。 IEEE 標準。有線 LAN でポートアクセス管理を行うためにも用いられる。EAP と RADIUS を用いる。			

MAC アドレスフィルタリング	無線 LAN 端末固有の MAC アドレスを無線 LAN アクセスポイントに設定することで、無線 LAN 端末を無線 LAN アクセスポイントに接続するか否かを制御するセキュリティ方式。				
PSK	Pre-Shared Key の略。 暗号化キーを生成するために用いられる共有(秘密)鍵のこと。この鍵を用いて直 接暗号化を行うものではなく、暗号鍵を生成するためのものであることから"事前 共有鍵"と呼ばれる。PSK とは、事前共有鍵を用いる認証方式を表す場合がある。				
RADIUS	Remote Authentica ネットワークアクセ ル。	ition Dial-in User S ス全般に対する認証	Service の略。 、アクセス承認、課金	管理を行うプロトコ	
SSID	Service Set Identifier の略。 無線 LAN を構成する無線 LAN アクセスポイントと端末に付けられた識別子のこ と。無線 LAN をグループ化するために用いられる。 無線 LAN アクセスポイントと端末に同じ SSID が設定されていないと通信できな い。無線 LAN アクセスポイントを中心とした 1 つのグループである BSS(Basic Service Set)が、802.11 による無線 LAN のインフラストラクチャ通信の最小単 位となるが、複数の無線 LAN アクセスポイントにまたがった際のローミングを考 慮し、BSS を複数束ねた ESS(Extended Service Set)が定義されている。 この ため、SSID は ESSID と呼ばれることもある。 無線 LAN 接続ツールによっては、ネットワーク名と記載している場合もある。				
SSID の隠ぺい	SSID を無線 LAN アクセスポイントにより定期的に送信されるビーコン中に含まないように設定すること。				
ТКІР	Temporal Key Integrity Protocol の略。 暗号化方式の一種で、WPA の暗号化方式として採用されている。 PSK と呼ばれる"事前共有鍵"を元に暗号化キーを一定のデータ量また時間ごとに 生成し、暗号化を行う。				
WEP +-	WEP 暗号化方式で用いられる"暗号化キー"のこと。種類は共有(秘密)鍵である。				
WPA	① Wi-Fi Protected Access の略。 Wi-Fi Alliance が規格化した、新しいセキュリティ規格のこと。 WEP 方式よりセキュリティ強度が強化されている。暗号化方式と認証プロトコル により、以下の 4 つに分類できる。				
			■死し しの	証	
			PSK	EAP	
	暗号	TKIP	(1)	(2)	
		AES	(3)	(4)	
	 ※WPA 仕様書では、暗号プロトコル「AES」は必須ではないため、WPA をサポートしていても、AES をサポートしていない場合がある。 ② WPA にて認証に外部サーバを用いる方式を表す。上記表内の(2) または(4)の方式。 				
WPA - パーソナル	WPA にて認証に外部サーバも用いない方式を表す。上記表内の(1)または(3) の方式。				
アドホック(ad hoc)通信	無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行うモードの通信。				

暗号化キー	暗号化を行う鍵のことで、暗号化方式により、公開鍵と共有(秘密)鍵の 2 種類 ある。
インフラストラクチャ通信	無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイントを利用した形態の通信。
オープンシステム認証	無線 LAN の認証方式の1つ。無線 LAN 端末からは資格情報なしに無線 LAN アクセスポイントに認証依頼を行い、無線 LAN アクセスポイントは依頼された認証をそのまま受け入れる。そのため、ネットワークキーによる認証は行われていない(サーバ認証とは別)。
キーインデックス	WEP 暗号化方式では、仕様上 4 つの WEP キーを切り替えることができる。WEP 暗号化方式では、無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 端末の両方のキーインデ ックスを同じにしなければいけない。製品によってはキーインデックスの値が「0 ~3」のものと「1~4」のものがあり、設定に注意しなければならない。
キー更新間隔	暗号化キーを生成するデータ量間隔または時間間隔のこと。
共有キー認証	無線 LAN の認証方式の 1 つ。無線 LAN アクセスポイントと端末はネットワーク キーを用いたチャレンジレスポンス認証を行う。
ネットワークキー	共有キー認証の「"認証キー"」と暗号化機能の「"暗号化キー"または"PSK"」の両 方に用いられる"キー"のこと。
ネットワーク認証	無線 LAN の認証方式の総称。オープンシステム認証、共有キー認証、WPA、WPA - パーソナル、WPA2、WPA2 - パーソナルなどがある。
無線 LAN アクセスポイント	ネットワークに無線 LAN 端末を接続する機器であり、一般的には有線 LAN の HUB に相当する機能を持つ。

USB コネクタ

	[022000)-17]
0	使用上の注意	126
٥	USB 機器の取り付け/取り外し	128

[022001-17]

本機の USB コネクタには、USB 1.1 対応機器、USB 2.0 対応機器、USB 3.0 対応機器が取り付け可能です。 ただし、対応する規格の異なる USB コネクタに USB 機器を取り付けたときの、動作規格(転送速度)については次の表をご覧ください。

		本体側コネクタ			
		USB コネクタ(•←+)	USB コネクタ(USB 3.0 対応)(SSC-)		
取り付ける機 器	USB 1.1 対応機器	USB 1.1 (12Mbps ^{×1})			
	USB 2.0 対応機器	USB 2.0 ^{%2} (480Mbps ^{%1})			
	USB 3.0 対応機器	USB 2.0 ^{%2} (480Mbps ^{%1})	USB 3.0 ^{×3} (5Gbps ^{×1})		

※1 記載の速度は理論値(最大)です。

- ※2 USB ハブ、USB ケーブルも USB 2.0 に対応したものを使用する必要があります。
- ※3 USB ハブ、USB ケーブルも USB 3.0 に対応したものを使用する必要があります。
- USB 機器の取り付け/取り外しを行うときは、3 秒以上の間隔をおいて行ってください。
- USB コネクタにプラグをすばやく抜き差ししたり斜めに差したり半差しにしたりすると、正常に認識されないことがあります。その場合はプラグを USB コネクタから抜いて、正しく差しなおしてください。
- 初めて USB 機器を取り付けたときに、画面に何も表示されない場合は、USB コネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。いったんプラグを抜き、再度差し込んでみてください。
- スリープ状態に移行する前に USB 機器(マウスまたはキーボード以外)を取り外してください。USB 機器を取り付けた状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。
- 省電力状態(スリープ状態や休止状態)の時や、省電力状態への移行中、省電力状態からの復帰中は、USB機器の取り付け/取り外しをしないでください。
- 省電力状態への移行中は、取り付けている USB 機器を操作しないでください。
- 外付け USB 八ブ経由で USB 機器を使用する場合は、USB 八ブを本機に取り付けてから、USB 八ブに USB 機器を取 り付けるようにしてください。USB 機器を取り付けた状態で USB 八ブを本機に取り付けると、USB 機器が正常に認 識されないことがあります。
- USB 機器の有無にかかわらず「デバイス マネージャー」にある「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」は 削除、無効にしないでください。
- 印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのドキュメントを 一度キャンセルし、プリンタに取り付けている USB ケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。
 なお、印刷中ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。



本機では、BIOS セットアップユーティリティの I/O 制限で、USB コネクタの有効/無効を設定して、USB 機器の使用を制限することができます。

また、添付の DeviceLock でも、取り付けている USB 機器単位で読み込みや書き込みを制限することができます。



参照

- I/O 制限について
 「セキュリティ機能」の「I/O 制限 (P. 156)」
- DeviceLock について
 「セキュリティ機能」の「DeviceLock Lite (P. 162)」

[022002-17]

取り付けの前に

機器によっては、使用するためにドライバやアプリケーションのインストール、設定の変更などが必要になる場合があ ります。

USB 機器に添付のマニュアルなどをご覧になり、必要な準備を行ってください。



- 取り付けてすぐ使うことができる USB 機器がありますが、そのままではいくつかの機能が制限される可能性があります。必ず添付のマニュアルをよく読んでください。
- USB 機器は、本機の電源を入れたままの状態でも取り付けることができます。取り付け前に電源を切る必要はありません。
- 外付け USB ハブ経由で USB 機器を使用する場合は、はじめに USB ハブを本機に取り付けてから、USB ハブに USB 機器を取り付けるようにしてください。

USB 機器の取り付け

1 USB コネクタ (←)、または USB コネクタ (USB 3.0 対応) (SS ← またはSS → →)に プラグを差し込む

プラグの向きに注意して、止まるまで軽く押し込んでください。

取り付けた USB 機器が正しく本機に認識されたかどうかを確認してください。確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によっては、取り付けた後で別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各 USB 機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

USB 機器の取り外し

タスク バーの通知領域の 🔽 をクリックし、 🧞または 🐔 をクリック

このアイコンが表示されていない場合は手順3に進んでください。

🖊 表示された「×××××の取り出し」から、取り外したい USB 機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。 表示された「×××××の取り出し」に取り外したい USB 機器がない場合は手順 3 に進んでください。

3 USB 機器を取り外す

以上で USB 機器の取り外しは完了です。

メモリ

別吉の増設 DAM ボード	(1)///久	イエロ	の取り付け方	/町りみし 古や亦す	「谷の碇詞古注につい	て説明しています
別元00頃 KAM ハート	(以降、	スモリル	の取り的り方	「取りクトし刀 トーをま	ごをの唯心力 広に しい	し����ししいより。

Ø	取り付け前の確認	130
D	メモリの取り付け/取り外し	132
٥	メモリ変更時の確認	139

[022201-17]

本機にメモリを取り付ける前に、取り付けられるメモリを確認します。 本機にはメモリスロットが2つあり、最大16GBの搭載が可能です。 また、プラスドライバーを用意してください。

取り付けられるメモリ

チェック メモリを本機に取り付ける場合、必ず NEC の「ビジネス PC」サイト(http://jpn.nec.com/bpc/)で取り 付け可能となっているメモリをお使いください。 なお、市販のメモリに関する動作保証やサポートは NEC では行っていません。販売元にお問い合わせください。

本機には、メモリを1枚単位で、最大2枚まで取り付けられます。

取り付け可能なメモリの情報は、NECの「ビジネス PC」サイト(http://jpn.nec.com/bpc/)から次の手順で確認して ください。

┨ 「サポート情報(ダウンロード)」をクリック

2 「商品情報・ドライバ」にある「製品型番検索」にお使いのモデル型番を入力し、 へをクリック

お使いのモデルの型番で検索し、取り付け可能なメモリを確認してください。

スロットの位置



スロットへの取り付け順序

1 枚のメモリを取り付ける場合は、SO-DIMM1 に取り付けてください。 2 枚のメモリを取り付ける場合は、SO-DIMM2、SO-DIMM1 の順番に取り付けてください。



メモリ組み合わせ例

合計容量	SO-DIMM1	SO-DIMM2
4GB (4,096MB)	4GB (4,096MB)	_
8GB (8,192MB)	4GB (4,096MB)	4GB (4,096MB)
16GB (16,384MB)	8GB (8,192MB)	8GB (8,192MB)



チェック

本機では最大 16GB のメモリを搭載可能ですが、PCI デバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。なお、装置構成によって利用可能なメモリ容量は異なります。 また、Windows 7 Professional 32 ビットで利用可能なメモリ容量は 4GB までとなります。

メモリの取り付け/取り外し



[022202-17]

6 スタンドロックを口の位置にし、スタンドを取り外す





スタンドの底部は大変重くなっています。ネジをゆるめたり取り外したときにスタンドを落とさな いようご注意ください。

7 本体下部にあるネジ2本をゆるめる





8 背面カバーの下部と右部のツメを、矢印(①、②)の方向に沿って解除する





ツメの解除は、下部の右側(①)から始めてください。

9 背面カバーの右部を持ち上げ、上部のツメを解除する

上部のツメが解除されたら、最後に左部のツメを解除し、背面カバーを取り外してください。



10 図のように本体下部にあるネジ5本を取り外し、システム基盤シールドを取り外す



11 メモリの切り欠き部分を本体のコネクタの突起部分に合わせ、本体のコネクタに対して約 30 度の挿入角度で、メモリの端子が当たるまで挿入する

🧪 チェック

- メモリの表と裏が逆の場合は、メモリの切り欠きとコネクタの突起部分が合わず、挿入することができませんので、よく確認してください。
- メモリの基板は薄いため、破損しないよう十分に注意してください。
- メモリ上の部品やハンダ付け面には、手を触れないよう注意してください。メモリを手に持つ際は、メモリの両端面を持つようにしてください。



実物は図と多少異なる場合があります。

チェック

挿入するときに、固いことがありますが、奥までしっかり押し込んでください。しっかり押し込ま ずに次の手順を行うと、コネクタを破損するおそれがあります。



12 カチッと音がする位置までメモリを本体のコネクタに強く倒し込む



実物は図と多少異なる場合があります。







14 背面カバーを元に戻し、ネジ2本で固定する

15 スタンドを元に戻す

16 取り外したケーブル、コード類、使用している場合は盗難防止用の錠を取り付ける



以上でメモリの取り付けは完了です。

メモ

メモリを取り付けた後は、「メモリ変更時の確認 (P. 139)」に従って、変更が正しく行われたかどうか確認してください。

メモリの取り外し

「メモリの取り付け (P. 132)」の手順 1~10 に従って、システム基盤シールドを取り外す

コネクタの両端部分を左右に押し広げる

メモリが図のように起き上がります。



実物は図と多少異なる場合があります。



● メモリの基板は薄いため、破損しないよう十分に注意してください。

 メモリ上の部品やハンダ付け面には、手を触れないように注意してください。引き抜くときは、 両端面をつかんで引き抜いてください。

3 そのままメモリを斜めに引き抜く

👍 システム基盤シールドを元に戻し、外したネジ 5 本で固定する

- 5 背面カバーを元に戻し、ネジ2本で固定する
- 6 スタンドを元に戻す

7 取り外したケーブル、コード類、使用している場合は盗難防止用の錠を取り付ける

8 電源コードを取り付ける

以上でメモリの取り外しは完了です。



メモリを取り外した後は、「メモリ変更時の確認 (P. 139)」に従って、変更が正しく行われたかどうか確認してください。

メモリ変更時の確認

[022203-17]

メモリの取り付け/取り外しが正しく行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認します。

「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリック

「システム」欄の「実装メモリ(RAM)」に表示されている「***GB」が総メモリ容量です。

メモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、再度確認してください。



- 本機では最大16GBのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。なお、装置構成によって利用可能なメモリ容量は異なります。 また、Windows 7 Professional 32 ビットで利用可能なメモリ容量は 4GB までとなります。
- メモリを変更した場合、メモリの組み合わせによっては、初期化のために電源を入れてからディスプレイ に画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- BIOS セットアップユーティリティの「Main」メニューにある「System Summary」メニューの「Installed Memory」でも、確認することができます。

Bluetooth 機能

[023700-17]

本機の Bluetooth 機能について説明しています。

Σ	概要	141
0	セキュリティに関するご注意	143
0	使用上の注意	144
0	Bluetooth 機能の設定と接続	146
Ø	Bluetooth 機能のオン/オフ	151



[023701-17]

Bluetooth 機能について

Bluetooth(ワイヤレステクノロジー)機能は、Bluetooth ワイヤレステクノロジーが搭載された機器とデータ通信を行う Bluetooth Special Interest Group (SIG)が策定した世界標準の通信規格です。

Bluetooth 機能でできること

次のような、Bluetooth 機器とワイヤレスで接続することができます。

- マウスやキーボード
- 携帯電話、タブレット
- ヘッドセット、ヘッドフォン

など

最大で7台のBluetooth機器を同時に接続できます。



チェック

- Bluetooth 機能をお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- 同時に利用する Bluetooth 機器の台数が多い場合、通信負荷が大きくなり動作に影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 機器によっては、複数同時に使用できない仕様のものがあります。
- 同じ種類の Bluetooth 機器でも機能差がある場合があります。
- Bluetooth 機能は、すべての Bluetooth 機器に対して動作を保証するものではありません。Bluetooth 機器の動作環境と接続の可否を確認してください。

接続できる機器

本機の Bluetooth 機能は、Ver.1.1 以降で Ver.4.0 までのいずれかの規格に対応した機器(マウスやキーボードなど)と 接続できます。ただし、接続する機器が、Bluetooth プロファイルに対応している必要があります。また、使用する機器 やソフトによっては接続できないことがあります。機器をご購入する前に製造元や販売店に確認してください。 対応している Bluetooth プロファイルについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索 し、「仕様一覧」をご覧ください。 http://121ware.com/support/

シンプルペアリング機能(Ver.2.1以降)に対応した機器と接続する場合は、パスキー(PINコード)を入力することなく機器同士をペアリングすることができます。

また、次の機能が強化されています。

- 省電力機能(Ver.2.1 以降)
 Ver.2.0 + EDR よりも省電力が強化され、マウスやキーボードなどのバッテリ駆動時間の延長に効果があります。
- ペアリング機能
 第三者の介入によって情報が傍受される可能性を排除する防御機能が搭載されています。
- Enhanced Data Rate (EDR)機能
 従来の規格の約3倍(理論上)の速度で通信を行えます。
- Advanced Frequency Hopping (AFH)機能
 無線 LAN (IEEE802.11b/g/n) など、他の 2.4GHz 帯域を利用する無線機器が利用している周波数を避けて干渉の可能性を低減させます。

チェック

● 回避できる周波数帯域が確保できない場合は、この機能の効果が得られないことがあります。

● 2.4GHz 帯域の中でも無線 LAN(IEEE802.11n)はより強い干渉を受ける場合があります。

Low Energy 機能(Ver.4.0 以降)

従来の機器に比べて低消費電力の Bluetooth Smart 機器(マウスなど)と接続することが可能です。

通信距離と速度

通信できる距離

本機は、相手の機器間と見通しで約10mの範囲まで通信できます。ただし、10m以内でもデータ通信タイミングを必要とする音楽データ通信などは音とびが発生する場合があります。

通信速度

実際の通信速度は、各通信モードの規格値の半分程度を目安にしてください。 Enhanced Data Rate(EDR)規格に対応した機器同士の最大通信速度は 3Mbps(規格値)です。 前述の HS および EDR に対応していない機器の場合(Basic Rate:BR)は、最大通信速度(非同期)は 1Mbps(規格 値)です。



チェック

接続する機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のソフト、および OS などによって、 通信速度や距離は大きく変化します。

セキュリティに関するご注意

[023702-17]

Bluetooth 機能では、セキュリティを確保するため、機器ごとに割り振られた固有の ID で機器の識別をしています。さらにパスキー(PIN コード)を設定して接続認証を行ったり、通信データを暗号化することで通信を傍受された場合にもデータの内容を守ることができます。また、通信中に使用する周波数帯域を接続単位ごとにランダムに変更しながら通信することで通信傍受されにくくなっています。



- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を 100%保証するものではありません。
- 身に覚えのない接続を要求された場合は、無視するか受付をしないでください。

使用上の注意

[023703-17]

- 接続相手と通信中(ファイル転送中やプリンタで印刷中、オーディオ機器で音楽再生中など)に、本機を休止状態や スリープ状態にしないでください。
- 本製品に標準内蔵以外の Bluetooth[®] ワイヤレステクノロジー機器をセットアップして使用しないでください。
- Bluetooth 対応オーディオ機器をご使用になる場合は、SCMS-T 方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。本機を用いて著作権保護されたデータのコピーを作成することは違法となる場合があります。
- 本製品には、2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz 全帯域(2.4GHz ~2.4835GHz)を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域(2.427GHz~2.47075GHz)と重複しており、 この重複する周波数帯での干渉を回避することができません。変調方式として FH-SS 方式を採用しており、与干渉 距離は 80m です。



- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格(RCR STD-38)」に基づく基準値を 下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている 移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されてい ます。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して ください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります(本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます)。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
 - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
 - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
 - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線(CB 無線)やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。
 詳しくは、ご使用場所の管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。
- 本製品は、Bluetooth[®]パスキー(PINコード)や暗号化機能等を使用することにより、無線ネットワークでの不正 アクセスを防止することが可能ですが、日頃からの接続デバイスの管理をされることをおすすめします。
- 病院内や航空機内など電子機器、無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。機器の電子回路 に影響を与え、誤作動や事故の原因になるおそれがあります。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーを装備されているかたは、本商品をペースメーカー装置部から 30cm 以上離して使用してください。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが 起きたときは、NECまたはご購入元にお問い合わせください。

[023704-17]



- 本機と接続する Bluetooth 機器との距離は、できるだけ近くする
- 接続する Bluetooth 機器との間に障害物を置かないようにする
- 金属製のパソコンラックなどで本機を使用しない
- 通信中は近くで同じ周波数帯域を使用する電子レンジや他の無線機器を使用しない

Bluetooth 機器の接続

メモ

メモ

Bluetooth 機器を接続するときは、機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

接続する Bluetooth 機器を接続可能な状態にする

タスク バーの通知領域の
本をクリックして表示される
(Bluetooth デバイス)をクリック
し、表示されたメニューから「デバイスの追加」をクリック

(Bluetooth デバイス)がない場合、またはのが表示されている場合は、「Bluetooth 機能のオン /オフ (P. 151)」をご覧になり、Bluetooth 機能をオンにしてください。

「デバイスの追加」画面が表示され、Bluetooth 機器が検索され一覧に表示されます。

📱 接続する Bluetooth 機器を選択し、「次へ」ボタンをクリック

チェック

デバイスの追加で認証エラーが発生し自動で接続できない場合には「再実行」をクリックし、デバ イスを選んで「次へ」をクリックします。「ペアリングオプションの選択」でデバイスのマニュアル に記載のデバイスのペアリングコードを入力するか、もしくはペアリングコードを使用しないを選 択して接続を繰り返してみてください。



接続したい対象が表示されない場合は画面下の「Windows でデバイスが検出されない場合の対処方法」をクリックして対処を実施してください。

登録済みのデバイスを確認する場合は、タスクバーの通知領域の をクリックして表示される
 (Bluetooth デバイス)をクリックし、「Bluetooth デバイスの表示」をクリックして一覧を開いて確認してください。

4 「このデバイスは、このコンピューターに正常に追加されました」と表示されたら「閉じる」ボ タンをクリック

~ =

チェック

- Bluetooth キーボードを接続するときにペアリング コード (PIN コード)の入力を求められたときは、画面に表示されたコードを入力して最後に【Enter】を押してください。その他の機器でペアリング コード (PIN コード)の入力を求められたときは、その製品に添付のマニュアルなどでご確認ください。
- ドライバのインストール中に本機の動作が遅くなる場合があります。
- ドライバによっては再起動を求められる場合があります。
- Bluetooth 対応オーディオ機器を使用する場合は、SCMS-T 方式の著作権保護機能をサポートした機器を おすすめします。
- Bluetooth 機器によってサポートしている機能に差分があったりアプリケーションソフトが対応できな かったりする場合がありますので、ご購入前にサポート機能の確認を行ってください。

メモ

- Bluetooth 対応オーディオ機器(ステレオヘッドフォンなど)を接続していて音が切れる(音飛びする) 場合は、一度切断して本機の Bluetooth 側から再接続することをおすすめします。これはオーディオ機器 によるホスト処理の負荷が高いため、遅れが出る場合があるからです。解決しない場合は、本機と接続機 器の距離を近くするか、バッテリ駆動の機器の場合はバッテリ容量の残量を確認してください。
- 無線LANを使用していない(アクセスポイントに接続していない)ときに、接続している Bluetooth 機器の動作が不安定(オーディオ機器のノイズ、マウスのカクツキなど)な場合は、無線LAN 機能のみをオフにしてください。システム処理の負荷を軽減することができます。

参照

無線 LAN 機能のオン/オフについて

「無線 LAN 機能」の「無線 LAN 機能のオン/オフ (P. 110)」

Bluetooth 機能の設定を変更する

必要に応じて Bluetooth 機能の設定を変更することができます。設定の変更は次の手順で行ってください。

タスク バーの通知領域の をクリックして表示される。 (Bluetooth デバイス)をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック



(Bluetooth デバイス)がない場合は、またはのが表示されている場合は、「Bluetooth 機能のオン/オフ (P. 151)」をご覧になり、Bluetooth 機能をオンにしてください。

「Bluetooth 設定」-「オプション」タブの詳細は、「Bluetooth デバイスの設定を変更します。」をクリックして表示される「Windows ヘルプとサポート」を参照ください。

「Bluetooth 設定」-「COM ポート」タブの詳細は、「Bluetooth デバイスの COM ポートを選択します。」をクリックして表示される「Windows ヘルプとサポート」を参照ください。



チェック

接続した Bluetooth 機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

Bluetooth 接続でのファイルの送受信

Bluetooth 機器間で一時的に小さなファイルを簡単にやりとりすることができます。

ファイルの送信

ファイルの送信は次の手順で行います。



メモ 受信側の Bluetooth 機器でのファイル受信については、機器により異なるので受信側の機器のマニュアルを

送信するファイルを右クリックし、表示されたメニューから「送る」→「Bluetooth」をクリ ック

🧪 チェック

複数のファイルをまとめて送信したい場合でも、フォルダの送信はできません。ファイルを送信してください。

2 「次へ」ボタンをクリック

リストに表示される送信先のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリック

送信先が見つからない場合は「更新」ボタンをクリックしてください。



受信側(送信先)でファイルの受け取りを承諾する

受信側で受信を許可すると、「Bluetooth デバイスのファイル送信ウィザード」上でファイルの送信が開始されます。

「転送が完了しました。」と表示されれば送信終了です。



Bluetooth 機器の接続の切断

接続先のデバイスのマニュアルを参照し、切断してください。

Bluetooth 機器の登録削除

使用しない Bluetooth 機器の登録を削除する場合は、次の手順で行います。

タスク バーの通知領域の
なので、
をクリックして表示される
(Bluetooth デバイス)をクリック
し、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの表示」をクリック



Bluetooth 機器の一覧が表示されます。



登録を削除したい Bluetooth 機器のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「デ バイスの削除」をクリック

デバイス削除の確認画面が表示されます。

3 「はい」ボタンをクリック

チェック 他の機器に影響を与える場 機を使用する場合は、Blu	易合や Bluetooth 機能を使用しない場合、Bluetooth 機能が使用できない環境で本 etooth 機能をオフにしてください。	
Bluetooth 機能の状態については、タスク バーの通知領域の 🔺 をクリックして表示されるアイコンで確認できます。		
アイコン	Bluetooth 機能の状態	
8	スタンバイ/動作中	
アイコン無し、または	オフ	

[023705-17]

「デバイス マネージャー」で切り替える

Bluetooth 機能のみをオフにしたい場合は、「デバイス マネージャー」で Bluetooth 機能を無効にしてください。 「デバイス マネージャー」での Bluetooth 機能のオン/オフの切り替えは、次の手順で行います。

オンにする

- 「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く
- 🚪 「Bluetooth 無線」をダブルクリック
- 「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R)」を右クリックし、表示されたメニューから「有効」 をクリック

オフにする

- 🚺 「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く
- 2 「Bluetooth 無線」をダブルクリック
- 3 「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R)」を右クリックし、表示されたメニューから「無効」 をクリック

確認画面が表示されます。

4 「はい」ボタンをクリック

セキュリティ機能

[022500-17]

本機で利用可能なセキュリティ機能について説明しています。

Ø	セキュリティ機能について	153
0	アドミニストレータパスワード/パワーオンパスワード	154
Ø	ハードディスクパスワード機能	155
Ø	I/O 制限	156
Ø	盗難防止用ロック	157
Ø	DEP(Data Execution Prevention)機能	158
Ø	暗号化ファイルシステム(EFS)	159
Ø	ウイルス検出・駆除	160
Ø	セキュリティチップ機能	161
D	DeviceLock Lite.	162

セキュリティ機能について

[022501-17]

本機には、機密データの漏えいや改ざんを防止したり、コンピュータウイルスの侵入を防ぐために、次のようなセキュリティ機能があります。

チェック ・ お使いのモデルによっては使用できない場合があります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。

- 工場出荷時にインストールされていない機能やアプリケーションのインストールには、光学ドライブが必要です。
- 本機の各種セキュリティ機能は、完全なセキュリティを保証するものではありません。セキュリティ機能
 を使用している場合でも、重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意してください。

0	アドミニストレータパスワード/パワーオンパスワード	154
Ø	ハードディスクパスワード機能	155
D	I/O 制限	156
D	盗難防止用ロック	157
D	DEP(Data Execution Prevention)機能	158
D	暗号化ファイルシステム(EFS)	159
Ø	ウイルス検出・駆除	160
Ø	セキュリティチップ機能	161
0	DeviceLock Lite	162

アドミニストレータパスワード/パワーオンパスワード

[022502-17]

アドミニストレータパスワード/パワーオンパスワードは、BIOS セットアップユーティリティの起動や設定、本機の使用を制限するためのパスワードです。

BIOS セットアップユーティリティの使用者の制限

アドミニストレータパスワードまたはパワーオンパスワードを設定すると、BIOS セットアップユーティリティ起動時に パスワードの入力画面が表示されます。 アドミニストレータパスワードまたはパワーオンパスワードを入力して BIOS セットアップユーティリティを起動しない限り、設定の変更ができません。

パワーオンパスワードを入力して BIOS セットアップユーティリティを起動した場合、設定可能な項目が制限されます。 本機の管理者と使用者が異なるときに、使用者が設定変更してしまうことを防止する場合などに有効です。

本機の不正使用の防止(BIOS 認証)

パワーオンパスワードを設定してください。

本機の起動時にパスワード入力画面が表示され、本機を使用するにはアドミニストレータパスワードまたはパワーオンパスワードの入力が必要になります。



チェック

- NEC に本機の修理を依頼される際は、設定してあるパスワードは解除しておいてください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。
- パスワードを忘れた場合、NEC にお問い合わせください。

● 参照

BIOS セットアップユーティリティについて 『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

ハードディスクパスワード機能

[022503-17]

本機のハードディスク(またはSSD)にハードディスクパスワードを設定することで、本機のハードディスク(または SSD)を本機以外のパソコンに取り付けて使用するときにパスワードの入力が必要になり、不正使用や重要なデータの 漏えいを防止できます。

また、本機はハードディスクパスワードを設定すると、起動時にハードディスクパスワードの入力が必要になり、本機の不正使用防止にもなります。

ハードディスクパスワードには、ハードディスクマスタパスワードとハードディスクユーザパスワードの2つがありま す。

ハードディスクマスタパスワード

管理者がハードディスク(または SSD)の認証やハードディスクパスワードの設定変更を行うためのパスワードです。

ハードディスクユーザパスワード

使用者がハードディスク(または SSD)の認証やハードディスクパスワードの設定変更を行うためのパスワードです。

🟑 チェック

- ハードディスクマスタパスワードは、ハードディスクユーザパスワードが設定されていなければ設定できません。
- 購入元または NEC に本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除または無効にしておいて ください。また、起動できずにパスワードを解除または無効にできない場合は、修理から戻ってきた際 に、使用していたマスタパスワードとユーザパスワードを再設定してください。
- ハードディスクパスワードを忘れてしまった場合、NEC に持ち込んでもロックの解除はできません。ハードディスク(または SSD)に保存されているデータは二度と使用できなくなり、ハードディスク(または SSD)も有償で交換することになります。ハードディスクパスワードは忘れないように十分注意してください。
- ハードディスクパスワードに加えて、アドミニストレータパスワード/パワーオンパスワードを設定している場合は、起動までのパスワードを2回入力する必要がありますが、アドミニストレータパスワード/パワーオンパスワードとハードディスクパスワードを同一に設定するとパスワード入力は1回になります。



ハードディスクパスワードの設定について

『システム設定』の「システム設定」-「設定項目一覧」-「「Security」メニュー」

[022504-17]

本機では、BIOS セットアップユーティリティで、各種デバイスの I/O(データの入出力)を制限することができます。 この機能を利用することで、部外者のデータアクセスや、システムに影響を及ぼすアプリケーションのインストールを 制限することができます。



I/O 制限について

『システム設定』の「システム設定」-「設定項目一覧」-「「Devices」メニュー」



[022505-17]

別売のセキュリティケーブル (PC-VP-WS15/PC-VP-WS16) を利用することで、本体を机などにつなぐことができ、パ ソコン本体の盗難防止に効果的です。



当社製セキュリティケーブル(PK-SC/CA01)は、本機では使用できません。ご注意ください。



「各部の名称」の「各部の名称と説明」-「各部の名称」-「本体背面 (P. 16)」

[022507-17]

不正なプログラムやデータの実行をハードウェア的に防止する機能です。コンピュータウイルスが不正にプログラムコ ードを書き込んだり、実行しないようにすることができます。

[022510-17]

EFS (Encrypting File System) は、Windows 7 Professional の標準ファイルシステムである NTFS が持つファイルや フォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザー以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をも たらすことが可能です。

ウイルス検出・駆除

[022508-17]

チェック マカフィー リブセーフは、工場出荷時にはインストールされていません。

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うためのアプリケーションとして「マカフィー リブセーフ」が添付されています。



[022509-17]

本機は TPM(Trusted Platform Module)と呼ばれるセキュリティチップを実装しており、セキュリティチップ内で暗 号化や復号化、鍵の生成を行うことで、強固なセキュリティを実現します。

また、セキュリティチップ上に暗号化キーを持つため、ハードディスク(または SSD)を取り外して持ち出されても、 セキュリティチップ上の暗号化キーを用いて暗号化したデータは読み取られることはありません。

DeviceLock Lite

 \checkmark

チェック

DeviceLock Lite は、工場出荷時にはインストールされていません。

DeviceLock Lite(以下、DeviceLock)は、各種周辺機器の使用を制限することができるアプリケーションです。

[022514-17]



DeviceLock について

「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 188)」

マネジメント機能

[022600-17]

本機で利用可能なマネジメント機能について説明しています。

Ø	マネジメント機能について	164
D	リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能	165
Ø	ネットワークブート機能(PXE 機能)	170

マネジメント機能について

[022601-17]

本機には、システム管理者のパソコンからネットワークに接続された他のパソコンの電源やシステムを遠隔操作して管理するために、次のようなマネジメント機能があります。

D	リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能	165
0	ネットワークブート機能(PXE 機能)	170

リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能

[021805-17]

本機における LAN によるリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能(以降、WoL)は次の通りです。

- 電源の切れている状態から電源を入れる
- スリープ状態や休止状態からの復帰

WoLを使うように本機を設定している場合、本機の電源が切れているときも、LAN アダプタには通電されています。 管理者のパソコンから本機にパワーオンを指示する特殊なパケット(Magic Packet)を送信し、そのパケットを本機の 専用コントローラが受信するとパワーオン動作を開始します。

これにより、管理者のパソコンが離れた場所にあっても、LAN で接続された本機の電源を入れたり、スリープ状態や休止状態からの復帰をさせることができます。



- WoL を利用するためには、管理者パソコンに Magic Packet を送信するためのソフトウェア(WebSAM Client Manager など)のインストールが必要です。また、本機の BIOS 設定が必要になります。
- 前回のシステム終了(電源を切る、スリープ状態にする、休止状態にする)が正常に行われなかった場合、WoLを行うことはできない、または WoL で起動しても LAN が正常に動作しないことがあります。
 一度電源スイッチを押して Windows を起動させ、再度、正常な方法でシステム終了を行ってください。
- WoL を使用する場合は 10M/100M/1000M Auto-negotiation 機能を搭載したハブを使用してください。
 サポートする速度が 1000Mbps のみのハブでは WoL は使用できません。

電源の切れている状態から WoL を利用するための設定

電源が切れている状態からの WoL を利用するには、次の設定を行ってください。

■ 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

🥢 チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに 【F2】を数回押してください。



参照

BIOS セットアップユーティリティについて 『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

2

「Power」メニューにある「Automatic Power On」メニューの「Wake on LAN」を 「Primary」または「Automatic」に設定する



チェック

「Primary」に設定すると「Startup」メニューの「Primary Boot Sequence」の順位で、「Automatic」 に設定すると「Startup」メニューの「Automatic Boot Sequence」の順位で起動します。



起動デバイスの設定

参照

『システム設定』の「システム設定」-「設定項目一覧」-「「Startup」メニュー」



3 【F10】を押す

確認の画面が表示されます。



設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が起動します。

- 「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く 5
- 「ネットワーク アダプター」をダブルクリック
- 表示された LAN アダプタをダブルクリック
- 8 「詳細設定」タブをクリック
- 「プロパティ」欄の「ウェイク・オン・マジック・パケット」をクリック
- 「値」欄で「有効」を選択する 10
- **11** 「OK」ボタンをクリック
- 12 再度表示された LAN アダプタをダブルクリック
- 「電源の管理」タブをクリック
- 14 次の項目を確認し、チェックが付いていない場合はチェックを付ける
 - 「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」
 - 「このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」
 - 「Magic Packet でのみ、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」



以上で設定は完了です。

電源の切れている状態から WoL を利用する設定の解除

電源の切れている状態からの WoL を利用する設定を解除する場合は、次の手順で設定を行ってください。

📱 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

🏑 チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに 【F2】を数回押してください。

● 参照

BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」



「Power」メニューにある「Automatic Power On」メニューの「Wake on LAN」を 「Disabled」に設定する

【F10】を押す

確認の画面が表示されます。



「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が起動します。

5 「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く





以上で設定は完了です。

ネットワークブート機能(PXE機能)

[021806-17]

ネットワークから起動して管理者パソコンと接続し、次の操作を行うことができます。

- OS インストール
- BIOS フラッシュ(BIOS ROM の書き換え)
- BIOS 設定変更

ネットワークブートを使用する場合は、BIOS セットアップユーティリティで設定を行ってください。

1 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

🧪 チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに 【F2】を数回押してください。

● 参照

BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

2 「Devices」メニューにある「Network Setup」メニューの「Boot Agent」を「PXE」に設定する

■【F10】を押す

確認の画面が表示されます。

- 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

5 すぐに【F2】を数回押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

Startup」メニューにある「Primary Boot Sequence」メニューで「Network 1」を選択し、【+】を押して最上位に設定する



確認の画面が表示されます。

8 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上でネットワークブートを使用するための設定は完了です。

便利な機能とアプリケーション

[060000-17]

Ø	アプリケーションの種類と機能	173
0	アプリケーションのインストール/アンインストールについて	175
0	「Service Pack」について	177
0	Internet Explorer 11	178
Ø	Office Personal 2016	180
Ø	Office Home & Business 2016	184
Ø	DeviceLock Lite.	188
Ø	Acrobat Reader DC	190
Ø	ECO モード設定ツール	193
Ø	CyberLink Power2Go.	195
Ø	CyberLink PowerDVD.	198
0	CyberLink PowerBackup	202
D	マカフィー リブセーフ	204

アプリケーションの種類と機能

[060100-17]

本機にインストール、または添付されているアプリケーションはモデルによって異なります。

標準でインストール、または添付されているアプリケーション

アプリケーション	機能
Internet Explorer	インターネットへ接続する ファイルをダウンロードする
Acrobat Reader DC	PDF 形式のマニュアルを表示、閲覧、印刷する
DeviceLock Lite	周辺機器の使用を制限する
ECO モード設定ツール	ECO モード機能の設定、または設定したホットキーでモード(電源プラン)を切 り替える
ハードディスクデータ消去ツール ※3	ハードディスク(または SSD)のデータを消去する
マカフィー リブセーフ	ウイルス対策とマルウェア対策などを行う包括的で高速なセキュリティソフトウ ェア

※3 再セットアップ用メディアが必要です。機能の詳細、使用方法については『メンテナンスとアフターケアについ て』をご覧ください。

モデルによってインストール、または添付されているアプリケーション

◆Office Personal 2016 モデル

アプリケーション	機能
Word 2016	文章を作成する HTML を作成する
Excel 2016	表計算をする
Outlook 2016	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する

◆Office Home & Business 2016 モデル

アプリケーション	機能
Word 2016	文章を作成する HTML を作成する
Excel 2016	表計算をする
Outlook 2016	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る

	ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2016	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2016	電子ノートブック機能

♦Web カメラ搭載モデル

アプリケーション	機能
YouCam 5 BE $^{\times 1}$	Web カメラを利用して省電力動作へ移行させたり、コンピュータを監視カメラと して使用する

※1 機能の詳細、使用方法については「本機の機能」の「Web カメラ」-「Web カメラについて (P. 68)」をご覧ください。

◆DVD-ROM ドライブモデル

アプリケーション	機能
CyberLink PowerDVD	DVD を再生する

◆DVD スーパーマルチドライブモデル

アプリケーション	機能
CyberLink PowerDVD	DVD を再生する
CyberLink Power2Go	CD-R などにデータを保存する
CyberLink PowerBackup	ファイルをバックアップする

アプリケーションのインストール/アンインストールに ついて

[060200-17]

本機にインストールまたは添付されているアプリケーションの概要とインストール方法およびアンインストール方法について説明します。

インストールやアンインストールをする場合、Windows およびインストールされているアプリケーションについての知 識が必要になります。

インストールについて

本機にインストール、または添付されているアプリケーションをインストールする場合の手順を説明します。

🥕 チェック

- アプリケーションのインストールは、必ず管理者(ユーザー名は半角英数字)でログオンして行ってください。
- 「ユーザー アカウント制御」 画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってくだ さい。
- アプリケーションのインストールには光学ドライブが必要な場合があります。
 光学ドライブが内蔵、または添付されていないモデルをお使いの場合は、別売の光学ドライブが必要です。
- 再セットアップの後に続けてアプリケーションのインストールを行う場合は必ず Windows の再起動後 に行ってください。
- アプリケーションの修復インストールはできません。
 いったんアンインストールしてから、インストールし直してください。

- ●「管理者」とは Administrator 権限を持つユーザーを指し、コンピュータの全体的な構成を管理することができます。
 - ユーザーアカウントに関する詳細については Windows のヘルプをご覧ください。
- 光学ドライブをDドライブとした場合の手順を説明します。
 必要に応じて読み替えてください。

アンインストールについて

本機にインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションのアンインストールの手順を説明します。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションのアンインストールについては、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。

^{/ 🗡}



コントロール パネルからアンインストールする

コントロール パネルからアプリケーションをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

1_ 「スタート」ボタン→「コントロール パネル」をクリック

- 2 「プログラムのアンインストール」をクリック
- **3** 一覧から、アンインストールしたいアプリケーションをクリック
- 4 「アンインストール」、「変更」、「アンインストールと変更」のいずれかをクリック

ノン メモ

アプリケーションによってクリックするボタン名が異なります。必要に応じて読み替えてくださ い。

5 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

以上でアンインストールは完了です。

「Service Pack」について

[060400-07]

概要

本機には「Windows 7 SP1」がインストールされています。 Windows 7 SP1 は、Windows 7 で発見された問題の改善および更新プログラムを集めたものです。

以下の Web サイトでは Windows 7 の Service Pack についての最新情報などを提供しています。 定期的にアクセスしてください。

http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows/downloads/service-packs

Internet Explorer 11

[060500-07]

۵	概要	178
۲	インストール	178
٥	アンインストール	179

概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。 機能の詳細や操作方法については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

ヘルプ (Internet Explorer 11上で【Alt】を押し、「ヘルプ」→「Internet Explorer ヘルプ」をクリック)



Internet Explorer 11のヘルプやオンライン サポートなどを確認するには、インターネットに接続している 必要があります。

● Internet Explorer の最新情報

http://windows.microsoft.com/ja-JP/internet-explorer/products/ie/home



チェック

Web サイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

起動方法

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」をクリック

Internet Explorer 11 画面が表示されます。

インストール

チェック

- 本機では、Internet Explorer 11 はインストールされています。
- Internet Explorer 11 をインストールする場合は、再セットアップを行うことをおすすめします。 『再セットアップガイド』をご覧ください。

アンインストール



- Internet Explorer 11 をアンインストールした場合、Internet Explorer 11、および更新プログラムで修 正されていた問題が発生する可能性があります。
- Internet Explorer 11 をアンインストールする場合は、購入時のセットアップ直後、または再セットアップ直後のいずれかの状態で行ってください。

なお、アンインストールすると Windows[®] Internet Explorer[®] 8 になります。

Internet Explorer 11 が起動している場合は、終了させてください。

Internet Explorer 11のアンインストール



以上で Internet Explorer 11 のアンインストールは終了です。

Office Personal 2016

[063500-07]

٥	概要	180
0	初回起動手順	180
۵	使用上の注意	181
٥	インストール	181
٥	アンインストール	182

概要

Word 2016、Excel 2016、Outlook 2016 が同梱されています。 機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

各 Office アプリケーションのヘルプ

●Office Personal 2016の最新の情報

http://office.microsoft.com/ja-jp/

🖌 チェック

Web サイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

初回起動手順

Office Personal 2016 モデルでは、工場出荷時の状態で、Office Personal 2016 の各アプリがインストールされています。

初回起動によりライセンス認証を完了させる必要があります。

以下の初回起動手順を行ってください。



- ライセンス認証が完了していない場合、アプリ起動時に認証画面が表示されます。初回起動した日から5日間試用することができます。5日間を経過すると機能が制限され、認証が完了するまで閲覧専用となります。
- ライセンス認証が完了すると、ほかの Office アプリで再度行う必要はありません。
- 初回起動手順は、マイクロソフト社によるアップデートなどで変更される場合があります。その場合は、 画面の手順に従って入力してください。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から Word2016、Excel2016 など Office アプ リのいずれかをクリック


- 3 プロダクトキーの入力とサインインの選択画面で、「プロダクト キーの入力」 をクリック
- 4 「プロダクト キーを入力してください」と表示されたら、プロダクトキーを入力し、「インスト ール」をクリック

チェック プロダクト キーは Office カード自体に記載されています。

ライセンス認証が正常に完了すると、「Office 2016 へようこそ」画面が表示されます。

5 「最初に行う設定です。」と表示されたら、「同意する」をクリック

「使用許諾契約書」の内容を確認後、「OK」ボタンをクリックし、また「同意する」をクリックしてください。

「Office 2016 へようこそ」画面に戻り、「XXXX(Office アプリ名)の使用を開始」をクリ ック

Office アプリの画面に戻ります。

以上で初回起動手順は終了です。

使用上の注意

Microsoft[®] Update について

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。 Office を最新の状態に保つために、Microsoft[®] Update を定期的に実施してください。



- Microsoft[®] Update を行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft[®] Update は必ず Office の「初回起動手順 (P. 180)」を済ませてから実施してください。

インストール

チェック

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。



インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

Office Personal 2016 のインストール

Internet Explorer のお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」 ヘアクセスして、再インストールを 行ってください。

アンインストール

「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」のアンインストール





6 Windows を再起動する

以上で Office Personal 2016 のアンインストールは終了です。

Office Home & Business 2016

[063600-07]

Ø	概要	184
٥	初回起動手順	184
0	使用上の注意	185
0	インストール	185
۲	アンインストール	186

概要

Word 2016、Excel 2016、Outlook 2016、PowerPoint 2016、OneNote 2016 が同梱されています。 機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

各 Office アプリケーションのヘルプ

●Office Home & Business 2016 の最新の情報

http://office.microsoft.com/ja-jp/

チェック

Web サイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

初回起動手順

Office Home & Business 2016 モデルでは、工場出荷時の状態で、Office Home & Business 2016 の各アプリがイン ストールされています。

初回起動によりライセンス認証を完了させる必要があります。

以下の初回起動手順を行ってください。



ライセンス認証が完了していない場合、アプリ起動時に認証画面が表示されます。初回起動した日から5日間試用することができます。5日間を経過すると機能が制限され、認証が完了するまで閲覧専用となります。

- ライセンス認証が完了すると、ほかの Office アプリで再度行う必要はありません。
- 初回起動手順は、マイクロソフト社によるアップデートなどで変更される場合があります。その場合は、 画面の手順に従って入力してください。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から Word2016、Excel2016 など Office アプ リのいずれかをクリック



- 3 プロダクトキーの入力とサインインの選択画面で、「プロダクト キーの入力」 をクリック
- 4 「プロダクト キーを入力してください」と表示されたら、プロダクトキーを入力し、「インスト ール」をクリック

チェック プロダクト キーは Office カード自体に記載されています。

ライセンス認証が正常に完了すると、「Office 2016 へようこそ」画面が表示されます。

5 「最初に行う設定です。」と表示されたら、「同意する」をクリック

「使用許諾契約書」の内容を確認後、「OK」ボタンをクリックし、また「同意する」をクリックしてください。

「Office 2016 へようこそ」画面に戻り、「XXXX(Office アプリ名)の使用を開始」をクリ ック

Office アプリの画面に戻ります。

以上で初回起動手順は終了です。

使用上の注意

Microsoft[®] Update について

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。 Office を最新の状態に保つために、Microsoft[®] Update を定期的に実施してください。



- Microsoft[®] Update を行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft[®] Update は必ず Office の「初回起動手順 (P. 184)」を済ませてから実施してください。

インストール

チェック

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。



インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

Office Home & Business 2016 のインストール

Internet Explorer のお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」 ヘアクセスして、再インストールを 行ってください。

アンインストール

「Microsoft Office IME 2010 (Japanese)」のアンインストール



「Microsoft Office Home and Business 2016 - ja-jp」を選択し、「アンインストール」 をクリック

5 アンインストールが完了したら、「閉じる」ボタンをクリック

6 Windows を再起動する

以上で Office Home & Business 2016 のアンインストールは終了です。

DeviceLock Lite

[061200-17]

٥	概要	188
Ø	使用上の注意	188
Ø	インストール	188
Ø	アンインストール	189

概要

DeviceLock Lite (以下、DeviceLock) は、外部デバイスへのデータ漏えいを防止する情報漏えい対策ソフトウェアです。 機能の詳細や操作方法、制限事項については、以下をご覧ください。



●機能の詳細や操作方法、制限事項

DeviceLock User Manual (「アプリケーションディスク」内の「DeviceLock¥DeviceLock User Manual.chm」)

使用上の注意

CyberLink Power2Go と同時に使用する場合の注意

DeviceLock で書き込みを制限していると、CyberLink Power2Go を使用してメディアへ書き込みやファイルバックア ップはできません。 メディアへ書き込みやファイルバックアップを行う場合は、DeviceLock で光学ドライブを機器単位で有効に設定する か、書き込み制限を解除してください。

各種デバイス接続時の注意

DeviceLockの制御機能は、接続したデバイスを監視するため、通常の接続よりも認識に時間がかかる場合があります。

インストール

DeviceLock のインストール

■ Windows を起動する



光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする

3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック



D:¥Nxsetup.exe

5 「DeviceLock」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6 インストールが終了したら、Windows を再起動する

7 Windows を再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上で DeviceLock のインストールは終了です。

アンインストール

DeviceLockをアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 175)」を参照してください。

Acrobat Reader DC

[061300-07]

٥	概要	190
0	インストール	191
٥	アンインストール	192

概要

Acrobat Reader DC は PDF (Portable Document Format) 形式のマニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができる ビューアです。 機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

ヘルプ(Acrobat Reader DC を起動し、「ヘルプ」→「オンラインサポート」をクリック)



ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

● Acrobat Reader DC の最新の情報

http://www.adobe.com/jp/index.html

チェック

Web サイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

起動方法

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Acrobat Reader DC」をクリック

チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に「Adobe Acrobat Reader DC - パーソナル コンピューターでの使用に関する配布の使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認し「同意 する」ボタンをクリックしてください。 Acrobat Reader DC の主な機能を紹介する画面が表示されたら、それぞれ画面の内容を確認し、「次 へ」ボタンをクリックしてください。 「外出先でも。」画面で「完了」ボタンをクリックしてください。

Acrobat Reader DC の画面が表示されます。

インストール

チェック

「C:¥MAVP¥AdobeAcrobatReaderDC¥setup.exe」をダブルクリックすることで簡単にインストールできます。

Acrobat Reader DC のインストール

アプリケーションディスクをご利用になる場合は、次の手順でインストールしてください。



- 2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする
- 3 「D:¥AdobeAcrobatReaderDC」フォルダをハードディスク(または SSD)の任意の場所に コピーする

¥۲ 🖉

ここでは「C:¥TEMP」にコピーした場合の手順を説明します。 必要に応じて読み替えてください。

- 4 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す
- 5 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック



C:¥TEMP¥AdobeAcrobatReaderDC¥setup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。



以上で Acrobat Reader DC のインストールは終了です。

アンインストール

Acrobat Reader DC をアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 175)」を参照してください。

ECO モード設定ツール

[061400-17]

Ø	概要	193
Ø	インストール	193
٥	アンインストール	194

概要

ホットキーを設定することで簡単にモード(電源プラン)を切り替えることができます。 機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。



機能の詳細、操作方法について

「本機の機能」の「省電力機能」-「ECO モード機能 (P. 39)」

設定方法

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ECO モード設定ツール」→「ECO モード設 定ツール」をクリック

ECO モード設定ツールの設定画面が表示されます。

インストール

ECO モード設定ツールのインストール

- Windows を起動する
- 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする
- 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実 行」をクリック



「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Nxsetup.exe

「ECO モード設定ツール(一体型用)」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

6 「ECO モード設定ツール セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」 ボタンをクリック



8 再起動を促すメッセージが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック

9 光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出し、Windows を再起動する

以上で ECO モード設定ツールのインストールは終了です。

アンインストール

ECO モード設定ツールをアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 175)」を参照してください。



アンインストール中に「インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了する必要があります」 と表示された場合は、「セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する」を選択 し、「OK」ボタンをクリックしてください。

[061900-07]

Ø	概要	195
0	使用上の注意	196
0	インストール	196
Ø	アンインストール	197

概要

Power2Go の主な機能

CyberLink Power2Go は、すべてのドライブおよびディスク (CD、DVD など) に対応する PC 向けのオール メディア ライティング ソフトです。 CyberLink Power2Go を使うと、データ ディスクやミュージック ディスクなどの作成、書き込みができます。ディス ク ユーティリティーを使ってディスクを消去、コピーすることもできます。

対応するファイル タイプ

データ ディスク (あらゆるファイル タイプが書き込み可能なもの) を除き、音楽、動画、画像ディスクの作成時にイン ポート可能なファイル形式は次の通りです。

- 音声形式:MP3、M4A、WAV、WMA
- 動画形式:ASF、AVI、DAT、DVR-MS、M2T、M2TS、MOV、MOD、MP4、MPE、MPEG、MPG、MTS、TS、TOD、 VOB、VRO、WMV、WTV

対応するディスク タイプ

Power2Go は次のディスク タイプの書き込みに対応しています。

- CD:CD-R/RW
- DVD:DVD-R/RW、DVD-R/RW DL、DVD+R/RW、DVD+R/RW DL、DVD-RAM

●機能の詳細や操作方法

Power2Go のヘルプ





起動方法

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「CyberLink Power2Go 8」→「CyberLink Power2Go 8」をクリック

Power2Goの画面が表示されます。

使用上の注意

- データ ディスクを書き込む際に、コンテンツが追記可能なマルチセッション ディスクを作成することができます (ディスクに空き容量がある場合)。CD、DVD への書き込みで、マルチセッション ディスクを作成することができます す(追記禁止を選択していない場合)。
- マルチセッションディスクでは、ディスク容量が上限に達するか、追記禁止を選択するまで、コンテンツを何度も追記することができます。
- 媒体に傷が付いていたり、誤ってデータを削除してしまうと、データの復旧ができません。重要なデータは必ずバックアップを取るようにしてください。
- 書き込みまたはフォーマットを行っている際に表示される進捗状況バー、および推定残り時間は、実際の処理と合わない場合がありますが動作に影響はありません。

インストール

Power2Go のインストール

Power2Go は工場出荷時にプリインストールされています。改めてインストールしたい場合は、次の手順に従って Power2Go をインストールしてください。

Windows を起動する

- 况 光学ドライブに「CyberLink Power2Go ディスク」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック

「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥Power2Go¥Setup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。



「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

🕤 光学ドライブから「CyberLink Power2Go ディスク」を取り出す

以上で Power2Go のインストールは終了です。

アンインストール

Power2Go をアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 175)」を参照してください。

CyberLink PowerDVD

[062000-17]

D	概要	198
۲	使用上の注意	198
٥	インストール	200
٥	アンインストール	201

概要

DVD を再生することができます。

機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。



チェック

CyberLink PowerDVD は、工場出荷時にはインストールされていません。

●機能の詳細や操作方法

「CyberLink PowerDVD」のヘルプ(画面右上の 「?」ボタンをクリックすることで開くことができます)



- CyberLink PowerDVD では音楽 CD、ビデオ CD、および DVD-Audio の再生はサポートしていません。
- 本機では、リージョンコード(国別地域番号)が「ALL」または「2」が含まれている DVD のみ再生す ることができます。
- お使いのモデルによっては CyberLink PowerDVD は添付されていない場合があります。「アプリケーションの種類と機能 (P. 173)」をご覧になり確認してください。

起動方法

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「CyberLink PowerDVD」→「CyberLink PowerDVD」をクリック

CyberLink PowerDVD 画面が表示されます。

使用上の注意

- CyberLink PowerDVDの起動中は、次のことに注意してください。
 - 他のソフトを起動しないでください。コマ落ちが発生する場合があります。
 - ソフトによっては(同じように映像を表示するタイプのソフトなど)、他のソフトが起動できないことがあります。
 - 再生中は省電力状態(スリープや休止状態)へ移行しないようになっています。電源スイッチやスタートメニュー などを使って強制的にスリープや休止状態にしないでください。

- CyberLink PowerDVD を起動中に解像度/表示色/表示するディスプレイ/デュアルディスプレイ環境時のモニタ位置の変更など、おこなわないでください。
- デュアルディスプレイ機能を使っているときにディスクを再生すると、プライマリに設定されているデバイスのみに 表示される場合があります。
- 接続するディスプレイが、HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)規格に対応していない場合、著作 権保護された映像をデジタル出力できません。
- 画面回転機能の使用時の再生はサポートしていません。
- 電源プランを「ECO」にすると、CyberLink PowerDVD は正常に動作しない可能性があります。その場合は電源プランを「標準」に変更してください。
- DVD 再生開始時や DVD ディスク内タイトルの切り替え時に時間がかかることがあります。
- ビットレートの高い映像では、スムーズな再生品質を得られない場合があります。
- DVD コンテンツの作り方により、メニュー等でマウス選択できない場合があります。
- DVD タイトルの中には、DVD 再生用アプリケーションを含んだものがありますが、インストールする必要はありません。
- CyberLink PowerDVD でディスクが認識しない場合は、次のような原因が考えられます。

<ディスクの確認>

- 記録面に傷や指紋などの汚れがついている
 ディスクに傷が付いていると、使用できない場合があります。
 また、汚れている場合は、乾いたやわらかい布で内側から外側に向かって拭いてから使用してください。
- ディスクが光学ドライブに正しくセットされていない
 セットされているディスクの表裏を確認して、光学ドライブのディスクトレイの中心に、きちんとセットしてください。
- 書き込みに失敗したディスク
 書き込みに失敗したディスクは読み込めない場合があります。
- ファイナライズされていないディスク
 デジタルビデオカメラや、ライティングソフトで作成した場合、ファイナライズを行わないと、光学ドライブで読めない場合があります。
- 映像データファイルを記録したディスク
 CyberLink PowerDVD はファイル再生には対応しておりません。
 他の映像再生アプリケーション(Windows Media Player など)をご利用ください(その場合には、他社・コミュニティなどが用意するコーデックが必要になることがあります)。
- ディスクの劣化
 記録ディスクの品質により、経年劣化、光劣化などを起こすことがあります。
 ディスクを交換して試してみてください。

<ディスクの規格の確認>

AVCREC、AVCHD、ブルーレイディスクを再生させようとした可能性があります。 本機で使用できるディスクの規格を確認してください。

AVCREC 規格で記録された DVD
 著作権保護付きで、DVD 媒体にハイビジョン画質のデータを記録するための規格

AVCHD 規格で記録された DVD
 ハイビジョン映像を撮影・録画するデジタルビデオカメラの規格



本機で使用できるディスク

「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。 http://121ware.com/support/

<光学ドライブの確認>

光学ドライブの読み取りレンズが汚れているため読み取り不良になる。
 ほこりや油膜などによりレンズが汚れていると、読み込みに失敗したり、読み込み時間が長くなったりすることがあります。
 レンズクリーナーでレンズをクリーニングしてください。

光学ドライブが、使用可能ハードウェアとして認識されていない。
 BIOS セットアップユーティリティの I/O 制限、DeviceLock は周辺機器の使用を制限することができます。
 光学ドライブを使用不可に設定していないか確認してください。

インストール

CyberLink PowerDVD のインストール

Windows を起動する

- 2 光学ドライブに「CyberLink PowerDVD ディスク」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック
 - 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D: ¥POWERDVD(Win7Win8.1) ¥setup.exe

「CyberLink PowerDVD の InstallShield Wizard へようこそ」画面が表示されます。 これ以降の操作は画面の指示に従ってください。



「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」 ボタンをクリック



光学ドライブから「CyberLink PowerDVD ディスク」を取り出し、Windows を再起動す る 以上で CyberLink PowerDVD のインストールは終了です。

アンインストール

CyberLink PowerDVD をアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 175)」を参照してください。

チェック

アンインストール中に「CyberLink PowerDVD の個人設定を保持しますか?」と表示されたら、「いいえ」 ボタンをクリックしてください。

CyberLink PowerBackup

[063800-07]

٥	概要	202
٥	使用上の注意	203
٥	インストール	203
۲	アンインストール	203

概要

CyberLink PowerBackup は、ローカルディスクにあるデータを DVD 等の外部メディアにバックアップできるバックア ップ ソフトウェアです。



チェック

CyberLink PowerBackup は、工場出荷時にはインストールされていません。

PowerBackup の主な機能

- バックアップ、リストアおよび比較機能
- 完全 (すべて)、増分および差分バックアップ
- バックアップ間隔スケジュールの設定(1回、毎日、毎週、毎月)
- 複数ボリューム バックアップ
- CD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RW、DVD-R DL/+R DL および DVD-RAM ディスク タイプのサポート
- すでにファイルが含まれているディスクなど、あらゆるディスク サイズに合わせて自動調整
- ハード ディスク、USB、MO ドライブのサポート
- データ圧縮
- パスワード保護
- 特定の拡張子のファイルにフィルターを適用するため、フィルター リストを作成
- ファイルの検索
- バックアップ ファイルの名前を指定

●機能の詳細や操作方法

PowerBackup のヘルプ



「CyberLink PowerBackup 2.6」を起動する



1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「CyberLink PowerBackup 2.6」→ 「CyberLink PowerBackup 2.6」をクリック

PowerBackup の画面が表示されます。

使用上の注意

- ヘルプは多重起動できます。
- ネットワークに接続していない状態で、アップグレードボタンを押しても反応しません。

インストール

PowerBackup のインストール

- Windows を起動する
- 2 光学ドライブに「CyberLink PowerBackup ディスク」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック
 - 🖡 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

D:¥PowerBackup¥setup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

5 「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」 ボタンをクリック

6 光学ドライブから「CyberLink PowerBackup ディスク」を取り出す

以上で PowerBackup のインストールは終了です。

アンインストール

PowerBackup をアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 175)」を参照してください。

マカフィー リブセーフ

[063000-17]

٥	概要	204
٥	使用上の注意	205
٥	インストール	208
۲	アンインストール	208

概要

マカフィー リブセーフは、リアルタイムのウイルス対策とマルウェア対策、迷惑メール対策、双方向ファイアウォール の脆弱性対策、保護者機能などを搭載した包括的なセキュリティソフトウェアです。 機能の詳細、操作方法、制限事項、および最新情報については、以下をご覧ください。

●機能の詳細や操作方法

マカフィー リブセーフのヘルプとサポート (マカフィー リブセーフを起動して、ホーム画面の右上にある 「ヘルプ」 ボタンをクリック)

定期的にウイルスを検索するスケジュール スキャン、ネットワークや外付けドライブを経由したウイルスの侵入を常に 見張る機能やウイルスを駆除する機能などがあります。



マカフィー リブセーフのヘルプやサポート情報などを確認するには、インターネットに接続して行います。

●動作環境、制限事項に関する情報

試用期間は、初めてマカフィー リブセーフをセットアップした時点から 60 日間になります。60 日間は無料で試用する ことができますが、試用期間が終了するとウイルス定義ファイル(DAT)、ウイルス検索エンジンを含む製品のアップデー トを行なうことができなくなります。

マカフィー リブセーフのすべての機能を引き続きご利用になる場合は、マカフィー リブセーフを購入する必要があります。

購入に関する詳細な情報は以下のホームページをご覧ください。

http://www.mcafee.com



チェック

試用期間の終了後もウイルス定義ファイル・ウイルス検索エンジンによる本体でのウイルス検索は、引き続き行なうことができます。 ただし、試用期間の終了後に発見されたウイルスに対して検出・駆除が実施されませんのでご注意ください。

●マカフィー リブセーフの最新の情報

http://www.mcafee.com

チェック

- マカフィーリブセーフに関する緊急アップデート等の重要な製品情報が掲載されますので、マカフィーのホームページにて定期的に最新情報を確認することをおすすめします。
- コンピュータウイルスを検出した場合は、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧の上、対処してください。

起動方法

チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に使用許諾契約が表示されます。内容を確認し「承諾」 ボタンをクリックしてください。再び起動すると、機能を紹介する画面が表示されます。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「マカフィー」→「マカフィーリブセーフ -インターネットセキュリティ」をクリック

マカフィー リブセーフの画面が表示されます。

使用上の注意

マカフィー リブセーフについて

パソコンのデータと Web 閲覧を保護するために、マカフィーセキュリティ対策の最新の更新をインストールしてください。

新しいウイルス、ハッカーの攻撃など、パソコンやデータはオンライン脅威に常にさらされています。セキュリティ対策の更新により、新しいウイルス、スパイウェアなどの脅威を阻止するだけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールすることができます。



- マカフィーリブセーフの更新やクラウドを使用したウイルスチェックなどはインターネットに接続して 行います。インターネットに接続のために必要なインターネット接続料金や電話料金などがかかります。
 特に携帯電話など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。
- インターネットに接続していない場合は、パソコンに保存されている情報をもとにウイルスチェックを行うため、最新の情報でない場合があります。
- コンピュータ全体のバックアップを定期的に作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

アップデートについて

新たに発生する脅威からパソコンを保護するために、マカフィーソフトウェアを常に最新の状態にしてください。

チェック

- マカフィーソフトウェアを購入して登録すると、更新が自動的に確認され、インストールされます。
- マカフィー リブセーフの更新は、インターネットに接続して行います。

◆更新の確認

自動更新が有効になっている場合でも、更新を確認することができます。更新を確認するときは、次の手順で行います。

┃「セキュリティを管理する」→「マカフィー 更新」 をクリック

2 「更新の確認」をクリック



メモ

通知領域にあるマカフィーのアイコンを右クリックして「更新の確認」を選択しても、更新を確認すること ができます。

◆更新オプションの選択

自動更新では、新しいウイルスやスパイウェアなどの脅威に対する保護機能だけでなく、マカフィーソフトウェアの機 能強化もインストールされます。また、更新の方法を手動で変更することができます。更新オプションを選択するとき は、次の手順で行います。



「更新の設定」をクリック

自動更新の取得方法を選択する

- 「更新を自動的にダウンロードしてインストールする。」
- 「更新をダウンロードするが、インストール前に通知する。」
- 「更新が使用可能になったら通知する。」

4 「適用」をクリック

◆自動更新の有効/無効の設定

自動更新は、次の手順で有効または無効にすることができます。



更新を受信することで、新たに発生する脅威からパソコンを保護することができるため、自動更新を無効に しないことをおすすめします。

「セキュリティを管理する」→「マカフィー 更新」をクリック





スケジュール スキャンについて

スケジュール スキャンを設定すると、パソコンを定期的にスキャンし、ウイルス、スパイウェアなどの脅威を確認する ことができます。

次の手順で、スケジュール スキャンを設定してください。

【■「セキュリティを管理する」→「ウイルスおよびスパイウェア対策」をクリック

2 「スケジュール スキャン」をクリック

3 「スケジュール スキャン」で、ステータスが「無効」の場合は「有効にする」をクリック

4 「スキャン スケジュールの設定」をクリックし、スキャンのスケジュールを選択する

🧪 チェック

独自のスキャンスケジュールを設定する場合は、「独自のスキャン スケジュールを作成する」を選択し、スキャンを開始する週/曜日/時刻を選択してください。

5 スキャン中のパソコンのリソース消費を最小限にするには、「最小限のコンピューターリソース を使用してスキャンを実行する」にチェックを付ける

6 「適用」をクリック

以上でスケジュール スキャンの設定は終了です。

ファイル/フォルダのセキュリティ監視について

アプリケーションのインストール、アンインストール、または使用中に警告を受けたときは、対象のアプリケーション が安全なものであることを確認した上で、マカフィー リブセーフのヘルプをご覧になり、スキャン対象外に設定してく ださい。

ボリューム削除時のウィンドウについて

「ディスクの管理」より「ボリュームの削除」を行うと、ボリューム使用中を表す警告ウィンドウが表示される場合があ りますが動作に影響はありません。 警告ウィンドウが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

インストール

チェック

- デスクトップにある「LiveSafe」アイコンをダブルクリックすることで簡単にインストールできます。
- 本機を再セットアップした場合は、デスクトップに「LiveSafe」アイコンは表示されません。

マカフィー リブセーフのインストール

本機を再セットアップした場合は、次の手順に従ってマカフィー リブセーフをインストールしてください。

Windows を起動する

- 2 光学ドライブに「アプリケーションディスク」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック



D:¥Nxsetup.exe

5 「マカフィー リブセーフ」を選択し、「インストール」 ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

6「インストール完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

7 Windows を再起動後、光学ドライブから「アプリケーションディスク」を取り出す

以上でマカフィー リブセーフのインストールは終了です。

アンインストール

マカフィー リブセーフをアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 175)」を参照してください。

トラブル解決 Q&A

[100000-17]

٥	電源	210
٥	表示	215
۲	ファイル保存	219
۲	LAN 機能	222
۲	無線 LAN 機能	225
۲	印刷	228
۲	セキュリティチップ機能	230
۲	ハードディスク	234
۲	SSD	236
۲	光学ドライブ	238
۲	周辺機器	242
۲	Bluetooth 機能	244
۲	アプリケーション	246
۲	再セットアップ	253
Ø	その他	256



	[100100)-17]
0	「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示された................	211
Ø	ネットワークブートができない	212
Ø	キーボードエラーが表示される	213
0	USB キーボードから復帰する際に使用したキーが復帰後に入力されていることがある	214

Q:「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」 と表示された

[100106-17]

A:キャップスロックキーランプ())やニューメリックロックキーランプ())を確認し、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックやニューメリックロックの状態によって、入力される文字が異なり、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックキーランプ()) やニューメリックロックキーランプ()) でキャップスロックやニューメリックロックの状態を確認し、オン/オフを切り替えて、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックのオン/オフは【Shift】+【Caps Lock】で切り替えることができます。

ニューメリックロックのオン/オフは【Num Lock】で切り替えることができます。



A:ユーザー名を確認し、もう一度パスワードを入力してください。

選択したユーザー名を確認し、選択したユーザーのパスワードをもう一度正しく入力してください。

Q:ネットワークブートができない

[100903-10]

A: BIOS セットアップユーティリティの設定を確認してください。

ネットワークブートを使用するには、ネットワークブート機能(PXE 機能)を有効にする必要があります。





[100109-17]

A:本機とキーボードの接続を確認してください。

BIOS セットアップユーティリティの設定によっては、キーボード未接続時にキーボードエラーが表示され本機が起動しない場合があります。キーボードの接続を確認してください。

A:キーボードを接続せずに本機を起動するには、BIOS セットアップユーティリティの 設定を変更してください。

キーボードエラーが表示される状態から、キーボードを接続せずに本機を起動できるようするには、次の手順で BIOS セットアップユーティリティの設定を変更してください。



チェック

工場出荷時の状態では、キーボード未接続時でも本機が起動するように設定されています。



BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

🥕 チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに 【F2】を数回押してください。

) 参照

BIOS セットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」

2 「Startup」メニューの「Keyboardless Operation」を「Enabled」に変更する

🖌 【F10】を押す

確認の画面が表示されます。



「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOS セットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上で設定は完了です。

Q:USBキーボードから復帰する際に使用したキーが復帰後に入力されていることがある

[100214-17]



以上で設定は完了です。



[100600-17]

Ø	画面が流れるように表示される	216
0	デュアルディスプレイ使用時にアイコンの位置がおかしい	217
Ø	解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい	218

[100611-17]

A:お使いのディスプレイのディスプレイ情報ファイルを最新のものに更新してください。

一部の DDC 対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイルがないためにディスプレイの同期がとれず、画面が 流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイルを入手し、セットアップしてください。
[100612-17]

A:メイン ディスプレイの切り替え操作を行うとデスクトップ アイコンがメイン ディス プレイに正しく表示されない場合があります。



文書番号:2475327

「Windows 7 で複数台のモニターを使用し、プライマリ ディスプレイの切り替えを行うと、デスクトップ上のアイコンが変更したディスプレイに表示されない場合がある」

詳しくは「サポート技術情報について (P. 11)」を参照してください。

Q:解像度変更後、画面の縦横比や表示がおかしい

[100616-17]



次の手順で設定可能です。



Q&A:ファイル保存

	[100800	D-17]
0	はじめに確認してください	220
٥	DVD、CD にデータを書き込めない(保存できない)	221

[100801-17]

DeviceLock で光学ドライブの機能を制限していないか確認してください。

DeviceLock は周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。 DeviceLock をインストールしている場合は、DeviceLock 管理コンソールを起動し、設定を確認してください。



DeviceLock について

「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 188)」

Q:DVD、CD にデータを書き込めない(保存できない)

[101711-07]

A:「光学ドライブ」の「(よじめに確認してください (P. 239)」	の内容をご確認くださ
い。		

Q&A:LAN 機能

	[100900)-17]
Ø	ネットワークブートができない	223
D	動作が不安定になった	224

Q:ネットワークブートができない

[100903-10]

A: BIOS セットアップユーティリティの設定を確認してください。

ネットワークブートを使用するには、ネットワークブート機能(PXE 機能)を有効にする必要があります。



[100904-07]

A:LAN に接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しな くなることがあります。

LAN に接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスリープ状態や休止状態にしないでください。

Windows の電源プランで自動的にスリープ状態になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

[101000-17]

D	「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない	226
D	Windows 7の Service Pack 1(KB976932)をアンインストール後、デバイス マネージャーの「インテル(R) ワ	イヤ
	レス Bluetooth(R)」と「Intel(R) Management Engine Interface」に「!」が表示される	227

Q:「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブ ルクリックしても内容が表示されない

[101004-10]

A:相手のコンピュータに共有しているフォルダやプリンタなどがない可能性があります。

相手のコンピュータ上で共有化したいフォルダやプリンタを共有する設定にしてください。

Q: Windows 7 の Service Pack 1(KB976932)をアンイ ンストール後、デバイス マネージャーの「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R)」と「Intel(R) Management Engine Interface」に「!」が表示される

[101007-17]

A :	下記の手順で回避することができます。
1	「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く
2	Intel(R) Management Engine Interface を削除する
3	「メニューの操作」 → 「ハードウエア変更のスキャン」を実施する
4	Intel(R) Management Engine Interface ドライバーのインストールが開始される。完了

後、再起動する。

Q&A:印刷

	[101300-17]
PDF 形式のマニュアルがうまく印刷できない.	

Q: PDF 形式のマニュアルがうまく印刷できない

[101302-00]

A: 白抜きの文字やグラデーション、図形などがうまく印刷できない場合は次の対処方法 を試してみてください。

- Acrobat Reader DCの「印刷」ダイアログボックスの「詳細設定」ボタンをクリックして、「画像として印刷」にチェックを付けるか、プリンタのプロパティの中から「きれい」、「高品位」などを選択する
- プリンタドライバを最新のものにする
- プリンタが複数ある場合は、印刷先を別のプリンタに切り替え、同様に試してみる

Q&A: セキュリティチップ機能

[102200-17]

0	セキュリティチップを有効にしたい	231
0	セキュリティチップを初期化したい	232
D	本機を修理に出した後	233

Q: セキュリティチップを有効にしたい

[102203-17]

A:BIOS セットアップユーティリティでセキュリティチップを有効にしてください。

本機のセキュリティチップ機能を利用するには、BIOS セットアップユーティリティでセキュリティチップを有効にする 必要があります。



セキュリティチップ機能を有効にするには、『システム設定』から BIOS セットアップユーティリティの内容を確認し、 セキュリティチップ機能を利用可能(「Active」)にしてください。



- BIOS セットアップユーティリティについて
 『システム設定』の「システム設定」-「BIOS セットアップユーティリティについて」
- セキュリティチップ機能について
 『システム設定』の「システム設定」-「設定項目一覧」-「「Security」メニュー」

Q: セキュリティチップを初期化したい

[102201-17]

A: TPM 管理ツールでセキュリティチップを初期化してください。

次の手順で、セキュリティチップの初期化をしてください。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック



「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

TPM.msc

「コンピューターのトラステッド プラットフォーム モジュール (TPM) の管理 (ローカル コンピュータ)」 画面 が表示されます。

- 3 「操作」から、「TPM をクリア」をクリック
- **4** 「TPM 所有者パスワードを持っていません」をクリック

5 「再起動」 ボタンをクリックし再起動する

6 本機の再起動後、【F12】を押す確認画面が表示された場合は、指示に従って押す

設定値が保存され、本機が再起動します。



これでセキュリティチップが初期化されました。

8 「キャンセル」ボタンをクリック

🥕 チェック

「パスワードを自動的に作成します(推奨)」または「パスワードを手動で作成します」をクリックし、TPM 所有者パスワードを作成することもできます。 必要に応じて実施してください。



[102205-17]

本機を修理に出し、「マザーボード交換」や「セキュリティチップ交換」、「ハードディスク(または SSD)交換」、「再セットアップ」等が行われた場合には、セキュリティチップの初期化を行ってください。



チェック

セキュリティチップの初期化手順については、「セキュリティチップを有効にしたい (P. 231)」および「セキュリティチップを初期化したい (P. 232)」をご覧ください。

Q&A:ハードディスク

		[101500-1	7]
0	領域作成できる容量が、	カタログなどに記載されている値より少ない2	35

Q:領域作成できる容量が、カタログなどに記載されて いる値より少ない

[101506-07]

A:計算方法の違いによるもので、故障ではありません。

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1MB=1,000,000 バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1MB=1,024×1,024=1,048,576 バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

GB(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

A:ハードディスクに、「再セットアップ用データ」などを格納する領域があるためです。

本機のハードディスクには、Windowsの起動に必要なファイルや「再セットアップ用データ」などを格納するための領域として約11GBの領域が確保されています。そのため、使用可能な容量が、その領域の分だけ少なくなります。この領域を削除することはできません。

Q&A:SSD

		[101600)-17]
0	領域作成できる容量が、	カタログなどに記載されている値より少ない	237

Q:領域作成できる容量が、カタログなどに記載されて いる値より少ない

[101604-17]

A:計算方法の違いによるもので、故障ではありません。

カタログなどに記載されている SSD の容量は、1MB=1,000,000 バイトで計算しています。これに対し、SSD を領域作 成するときには、1MB=1,024×1,024=1,048,576 バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありま すが、故障ではありません。

GB(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

A:SSD に、「再セットアップ用データ」などを格納する領域があるためです。

本機の SSD には、Windows の起動に必要なファイルや「再セットアップ用データ」などを格納するための領域として約 11GB の領域が確保されています。そのため、使用可能な容量が、その領域の分だけ少なくなります。この領域を削除することはできません。

Q&A:光学ドライブ

[101700-17]

٥	はじめに確認してください	239
>	DVD、CD にデータを書き込めない(保存できない)	240
>	ドライブ文字がおかしい	241

はじめに確認してください

[101703-17]

DeviceLock で光学ドライブを制限していないか確認してください。

DeviceLock は周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。 DeviceLock をインストールしている場合は、設定を確認してください。



DeviceLock について

「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 188)」

ディスクが正しくセットされているか確認してください。

セットされている DVD、CD の表裏を確認して、光学ドライブのディスクトレイ中心の軸に、きちんとセットしてください。



光学ドライブ使用上の注意 「本機の機能」の「光学ドライブ (P. 74)」

本機のドライブで使用できるディスクか確認してください。

お使いのモデルにより光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。 http://121ware.com/support/

Q:DVD、CD にデータを書き込めない(保存できない)

[101711-07]

A:「光学ドライブ」の「はじめに確認して	ください (P. 239)」の内容をご確認くださ
ί۱°	
	,

[101715-07]

A:周辺機器を接続したままスリープ状態や休止状態にすると、光学ドライブのドライブ 文字が変更される場合があります。

このような場合は、Windows を再起動してください。

Q&A:周辺機器

														[1	01	800)-17]
Ø	はじめに確認してく	ださい	 		 				24	3								

[101803-17]

お使いの周辺機器が、本機や Windows 7 に対応しているか確認してください。

周辺機器によっては、本機や Windows 7 で動作しないものや、別途 Windows 7 に対応したドライバが必要なものがあります。

周辺機器が正しく接続されているか確認してください。

コネクタやネジが緩んだり外れたりしていないか、接続が正しく行われているか確認してください。

参照
 周辺機器の接続について
 周辺機器に添付のマニュアル

DeviceLock で無効に設定していないか確認してください。

DeviceLock は周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。 DeviceLock をインストールしている場合は、DeviceLock 管理コンソールを起動し、該当する周辺機器を無効に設定していないか確認してください。

参照

DeviceLock について 「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 188)」

Q&A: Bluetooth 機能

												[102	600)-17]
Ø	はじめに確認してく	ごさい	 			245									

[102601-17]

Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。



参照

Bluetooth 機能のオン/オフについて

「本機の機能」の「Bluetooth 機能」-「Bluetooth 機能のオン/オフ (P. 151)」

Q&A:アプリケーション

[101900-17]

Ø	はじめに確認してください	247
Ø	アプリケーションをインストールできない	248
Ø	アプリケーションを強制的に終了させたい	249
Ø	アプリケーションが本機で使用できるか知りたい	250
Ø	使用している Windows への対応が明記されていない Windows 用アプリケーションを使用したい	251
٥	Internet Explorer や関連製品に関するサポート技術情報について知りたいやりまでのであっていたのであります。	252

[101903-17]

お使いのアプリケーションが、本機や Windows 7 に対応しているか確認してください。

アプリケーションによっては、本機や Windows 7 で動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

お使いのアプリケーションが、使用している Windows 7 32 ビット版に対応しているか 確認してください。

本機では、64 ビット版のアプリケーションは使用できません。 アプリケーションのマニュアルで確認してください。

本機のドライブで使用できるディスクか確認してください。

お使いのモデルにより光学ドライブで使えるディスクは異なります。使用できるディスクについては、「サービス&サポ ート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。 http://121ware.com/support/

Q:アプリケーションをインストールできない

[101908-07]

A:権限を制限されたユーザーでログオンしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があり ます。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらうか、または管理者(Administrator)権限を持つユーザーで ログオンしてアプリケーションのインストールを行う必要があります。

A:ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

A:アプリケーションのインストール先がハードディスク(または SSD)以外のドライブ になっていないか確認してください。

ハードディスク(または SSD)にインストールして使用するアプリケーションのインストール先がハードディスク(または SSD)以外のドライブになっていた場合は、インストール先をハードディスク(または SSD)に変えて、インスト ールしなおしてください。

A:アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスク(または SSD) に一定の空き領域が必要な場合があります。

アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスク(または SSD)に一定の空き領域が必要な場合が あります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧になり、ハードディスク(または SSD)に必要な空き領域を確 認してください。

ハードディスク(または SSD)の空き領域が足りない場合は、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。

トレ 🖌

アプリケーションによっては、必要最低限の機能だけをインストールしたり、使用する機能だけを選択して インストールすることで、必要な空き容量を減らせる場合があります。

Q:アプリケーションを強制的に終了させたい

[101909-17]

A:アプリケーションがフリーズするなどの異常を起こしていて、電源が切れないなどの 問題が起きている場合、次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了 してください。

チェック この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまうことがあります。

- 【 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を1回押す
 - 「タスク マネージャーの起動」 をクリック
 - 「アプリケーション」タブをクリック
-
- 「状態」のところに「応答なし」と表示されているタスク(アプリケーション)をクリックし、 「タスクの終了」ボタンをクリック

この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

チェック

「状態」が表示されていない場合は、「名前」を右クリックして、表示されるメニューから「状態」 をクリックしてください。

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「本機の機能」の「電源」-「電源の入れ方と切り 方」の手順で電源を切ってください。

参照 正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」-「電源の入れ方と切り方 (P. 24)」

Q:アプリケーションが本機で使用できるか知りたい

[101910-00]

A:アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境を確認するか、製造元に確認して ください。

アプリケーションが必要とする動作環境は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションのカタログなど で必要な動作環境について確認するか、アプリケーションの製造元に確認してください。

Q:使用している Windows への対応が明記されていない Windows 用アプリケーションを使用したい

[101911-07]

A:アプリケーションの製造元に確認してください。

Windows 7 への対応が明記されていない、Windows 用アプリケーションが使用できるかどうかは、アプリケーション によって異なります。

アプリケーションの製造元に確認してください。アプリケーションの使用についての情報や、使用に必要なアップデー トプログラムなどが入手できる場合があります。

Q: Internet Explorer や関連製品に関するサポート技術 情報について知りたい

[101913-07]

A: Internet Explorer やその関連製品に関するサポート技術情報は、次の手順で調べることができます。

1 インターネットに接続する

2 Internet Explorer を起動し、【Alt】を押し、「ヘルプ」→「Internet Explorer ヘルプ」を クリック

Microsoft 社のサポートページが表示されます。この後は、そのページの説明に従って操作してください。
Q&A: 再セットアップ

[102000-17]

Ø	「再セットアップをすることはできません。」と表示される	254
0	「再セットアップ用メディア」を要求する画面が繰り返し表示され、先に進めない	255

[102001-07]

A:本機の機種情報が書き換わっている可能性があります。

ご購入元、または NEC にお問い合わせください。



NEC のお問い合わせ先について 『保証規定&修理に関するご案内』

Q:「再セットアップ用メディア」を要求する画面が繰り 返し表示され、先に進めない

[102002-17]

A:「再セットアップ用メディア」が必要です。「再セットアップ用メディア」を持っている/持っていないにあわせて、次のように対処してください。

●「再セットアップ用メディア」を持っている場合

お手持ちの DVD がお使いの装置の「再セットアップ用メディア」であること、すべての「再セットアップ用メディア」 が揃っていることをご確認の上、再セットアップの操作を継続してください。



DVD-R を使用して「再セットアップ用メディア」を作成した場合は「再セットアップ用ディスク 1」「再セットアップ用ディスク 2」の 2 枚が必要です。

●「再セットアップ用メディア」を持っていない場合

再セットアップの操作を継続することはできません。本機の電源スイッチを4秒以上押し続け、強制的に電源を切って ください。

なお、「再セットアップ用メディア」は、別途入手することもできます。



- 再セットアップの方法について
 『再セットアップガイド』
- 「再セットアップ用メディア」の入手について
 『メンテナンスとアフターケアについて』

Q&A:その他

[102100)-17]
クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった	257
テレビやラジオに雑音が入る	258
Windows 7 の Service Pack 1(KB976932)をアンインストール後、デバイス マネージャーの Intel(R)	
Management Engine Interface に「!」が表示される	259

0

Q: クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった

[102102-17]

A:異物が入り込んでしまった場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグを AC コンセントから抜いて、ご購入元にお問い合わせください。



そのままお使いになると、発煙、発火や故障の原因になります。

[102111-17]

A:テレビ、ラジオや他の電子機器を、本機から遠ざけてください。

A:本機の電源コードは、それらの機器を接続している AC コンセントとは別の AC コン セントにつないでください。

Q: Windows 7 の Service Pack 1(KB976932)をアンイ ンストール後、デバイス マネージャーの Intel(R) Management Engine Interface に「!」が表示される

[102112-07]

A:マイクロソフトの次のサイトから更新プログラム(KB2685811)を入手して適用して ください。

● Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7 および Windows Server 2008 R2 用 カーネル モード ドライバー フレームワーク バージョン 1.11 更新プログラム

https://support.microsoft.com/kb/2685811

更新プログラム

• Windows7 32 Bit 用: kmdf-1.11-Win-6.1-x86.msu



			[130000	0-00]
0	仕様一覧	 	 	261



[130001-00]

本機の仕様に関する詳細情報は、「仕様一覧」に記載しております。



「サービス&サポート」の「商品情報検索」よりお使いの機種を検索し、「仕様一覧」をご覧ください。

http://121ware.com/support/

活用ガイド

タイプ MG(液晶一体型)

第2版 2017年3月 ©NEC Personal Computers, Ltd. 2017 NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。